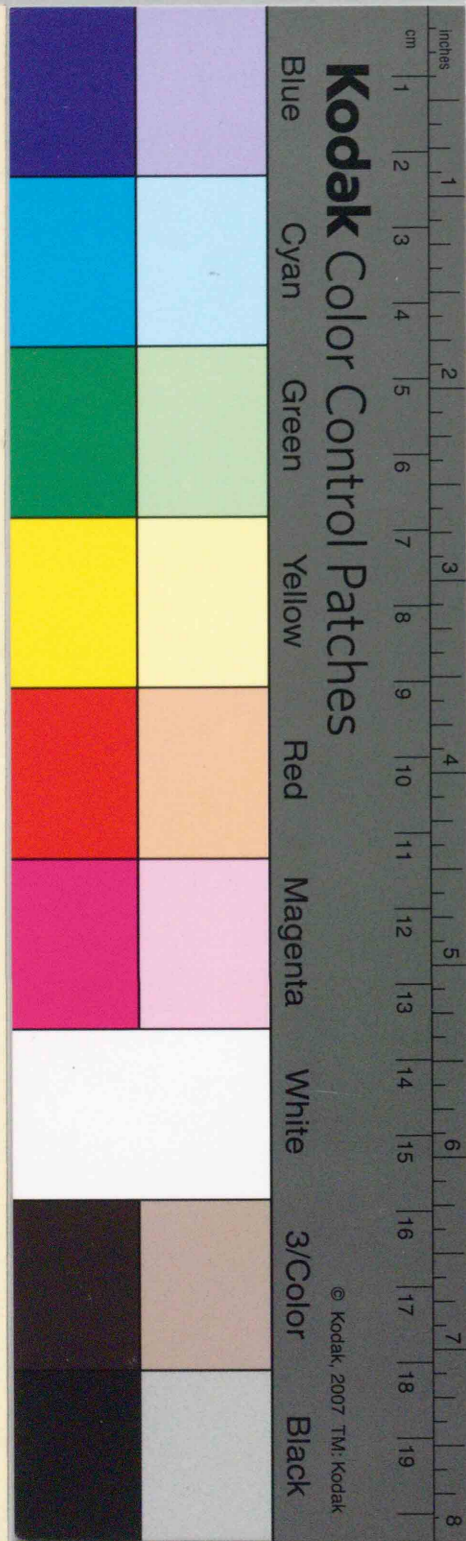


41068

教科書文庫

4
760
42-1939
01304 49397



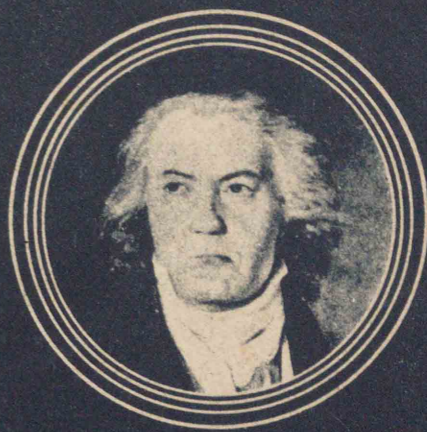
Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

© Kodak, 2007 TM: Kodak



文庫
0
939
9397



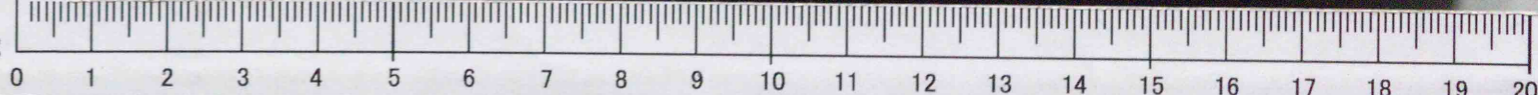
改訂

標準女子音樂教科書

黑澤隆朝
小川一朗 共編
林 幸光



第二編



中央図書館

教科書文庫

4

760

42-1939

0130449397

改訂標準 女子音楽教科書

第二編

黒澤隆朝
小川一朗
林幸光
共編

文部省検定済（昭和十四年三月十二日）
（師範學校・高等女學校音楽科）

広島大学図書

0130449397



広島大学図書

0130449397



中央図書館

中央図書館



少年の吹笛

筆一ネマ

明治天皇御製

國を思ふ
述懐

軍の場に

たつともたゝぬも

みちにふたつは
なかりけり

國を思ふ

莊重に力強く ♩ = 72.

編者謹作曲

くにおもふみちにふたつはな
かりけりいくさのにはにた
つもたたぬもいくさのに
はにたつもたたぬも

mf *p* *mf* *f* *mf* *rit.*

巻頭のことば

本書は文部省の音楽教授要目に準據して、現代の女子師範學校並に高等女學校の音楽教科書として編纂されたものである。

本教科書の特長として擧げる事の出来るのは次の諸點で、之等は行詰まれる音楽教育界に必ずや偉大なる貢獻を齎すべきことを堅く信ずるものである。

一 歌曲の形式は一々重要なる任務を有ち、易より難に極めて自然に排列せられてゐる。

歌曲の排列に當つては常に樂典知識の進歩と併進せしめる事に努め、音符の形態、リズムの形式、拍子、調等のあらゆる事項にいつて極めて綿密に考察せられ、前後よく連絡を保つてゐる。

二 歌曲にはなるだけ伴奏をつけ、生徒の音楽的陶冶に便にしてゐる。

言ふまでもなく音楽科に於ける歌曲教授は、聲樂的訓練をその目的の全部とするものでなく、常にその歌曲を中心として能ふ限り音楽的陶冶をなすにあるのである。その意味からメロディのみならず、常にハーモニーその他の音楽的條件を理解せしむる事に努力したのである。

三 歌曲の形式、及び之に含まれる音楽的要素の理解をはかる爲めには、基礎的練習、又は類似曲をあつめて之を参考曲、又は鑑賞曲として縦横自在にその徹底を期した。

練習曲は時間の都合により教授者の任意に待つものがあるが編者は最少限度と見て此等の練習曲を挿入したものである。又参考曲は正教材に準ずるもので、容易に自學し得べきものを之にあてた。

國華五章

明治天皇御製

いにしへのふみ見るたびに思ふかなおのがをさむる國はいかにと

明治天皇御製

罪あらば我を咎めよ天つ神民はわが身の生みし子なれば

源實朝

山はさけ海はあせなむ世なりとも君に二心わがあらめやも

賀茂眞淵

もろこしの人に見せばやみ吉野の吉野の山の山ざくら花

東郷平八郎

日の本の海にとゞろくかちどきをみいつかしかしこむ聲とこそ知れ

四 鑑賞曲は學習者の理解程度に應じ、聲樂器樂を通じ
て次第に世界的名曲に及び、國民の教養に必要と思はれる
名曲は殆ど之を網羅した。

之は本書の最も力を注いだ新生面で、從來の音樂教育を唱歌
教授の域から援ひたい意圖に出たものである。更に之を補ふ爲
めに必要に應じ 次の二點に深甚なる考慮を拂つた。

五 曲の解説、樂器の圖解、作曲者の評傳等は勿論、音
樂理解に必要な圖形寫眞を惜みなく挿入した。

六 歌詞の一字一音は常にメロディの性質によつて、極
めて自然に音韻を配置した事。

之は從來殆んど顧みられざる一大缺陷であつた。此の考慮を
缺く時は、如何なる名歌詞も支離滅裂の誹を免れない。

その他樂典の解説に就いては徒らに條文的の無味乾燥に流れ
る事を避けたこと、練習曲等には各々その學習の要點を指摘す
る事につとめた。

本書に収録された樂曲は、少數の編者作を除くの外は殆ど泰
西の名曲で、然も日本の國民性に共鳴點の多いもののみを選び
之に諸家を煩はして前述の如き歌詞を新作したものである。

終りに臨み鑑賞本位音樂陶冶主義に立脚して編纂した編者の
意圖に賛同せられ、音樂教育更新の爲め、本書の使命をして意
義あらしめる様希望して止まない次第である。

昭和六年盛夏

編纂者識す

改訂について

標準女子音樂教科書を世に問うて茲に六年、諸種の點に於い
て改訂の必要を感じたので、全般的に大改訂を加へ、殆ど面目
を一新せしめた。

勿論使用者諸彦の親切なる御建言をも率直に容れて之を考慮
し、現代の音樂教育の上に萬遺漏なきを期した。

改訂にあつて特に注意したことは次の諸項である。

- 一、日本國民たるの榮ある自覺に於いて、音樂を學習すべきこ
とを一層強調した。
- 二、教材歌曲を更に嚴選し、かつ獨唱曲その他多數の新しき歌
曲を増補して一層選擇を自由にした。
- 三、隨所に〔参考〕欄を設け、自習又は適當なる指導によつて、
音樂鑑賞上の必要なるべき知識を與へ、かつ寫眞・圖解等を多
く加へてその理解を助けた。
- 四、附録として音階練習、又はコール・ユー・ブングンより拔萃し
た系統的な音程練習を加へて、學習上の便に備へた。
- 五、本教科書五編の全卷は、一貫したる音樂鑑賞讀本であり、
世界名曲總目錄であり、かつ愛誦曲集であり、卒業後も音樂
常識の好侶伴たるべき便に備へて、卷末に索引・總目次を示し
た。

昭和十三年九月二十日

編纂者再識

改訂標準女子音楽教科書第二編

目次

口・繪 笛吹き少年 (原色版)	巻頭
御製國を思ふ (編者謹作曲)	巻頭
國華五章	巻頭
一 軍隊喇叭 (禮式)	1
君が代—足曳—海行カバ—國ノ鎮メ—水漬ク屍—吹ナス笛—命ヲ捨テテ	
二 ハ長調の復習	2
雲雀 (作曲者不詳)	3
三 ヘ長調の復習	4
[参考曲] 春の夜 (F. Harrison)	4
すみれ (ヴェルガ地方民謡)	5
若草の古戦場 (スコットランド民謡)	6
四 ト長調の復習	7
[鑑賞] ツルツ調 (F. Lehar)	7
郭公ワルツ (J. E. Jonasson)	8
[鑑賞] ワルツ「波上にて」(J. Rosas)	12
[鑑賞] ワルツ「金と銀」(Lehar)	12
五 長音階構成法	13
【参考】—金管楽器(一)(二)	14
六 旋律の構成	16
七 ニ長調の復習	17
[参考曲] 母のおもひ (小學唱歌集)	17
水に映る影 (M. Glinka)	18

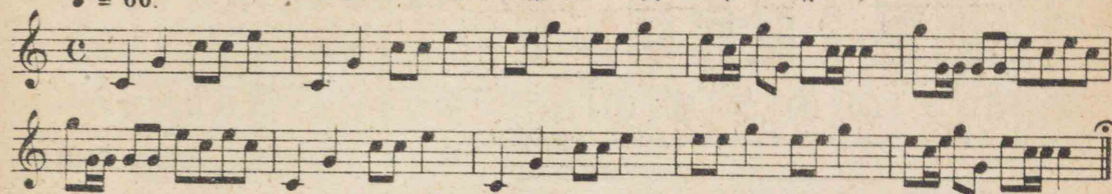
八 變ロ長調の復習	20
[参考曲] 春の山野 (W. B. Bradbury)	20
(小傳) ビゼー	21
[鑑賞] カスタネットの歌(「カルメン」より) (Bizet)	21
[鑑賞] 歌劇「カルメン」中の闘牛士の歌(「」)	21
日本帝國 (C. Blom)	22
[鑑賞] 牧童 (アイルランド民謡)	24
九 變ホ長調の復習	25
楽しき農夫 (R. Schumann)	25
十 樂曲の形式	26
樂曲の構成—動機—一部分形式の曲—二部分形式の曲—三部分形式の曲— 歌謡形式	
ブラームスの子守歌 (J. Brahms)	28
【参考】ニブラームス	30
[鑑賞] 眠りの精 (J. Brahms)	31
白百合 (J. Brahms)	32
【参考】三木管楽器(一)(二)	34
牧人の歌 (Karl Greger)	36
【参考】四ホルン	38
十一 ホ長調の練習	39
[鑑賞] 歌劇「オベロン」より (Weber)	39
夏を楽しむ (Rossini)	40
サンタ・ルチア (ナマリ民謡)	42
十二 八分の六拍子の復習	44
[鑑賞] タウベルトの子守歌 (W. Taubert)	44

〔鑑賞〕 聖夜 (F. Grüber)	44
〔参考曲〕 ロオレライ (Silcher)	45
(小傳) ジルヘル	45
深山路 (F. ヒッ曲)	46
十三 聲樂	48
聲域—聲樂の諸形式—合唱—單聲合唱—混聲合唱—合唱曲	
十四 二聲音の進行	49
並進行—斜進行—反進行	
箱根路 (F. Hiller)	50
〔鑑賞〕 「ピアノソナタ」の主題 (Mozart)	52
十五 主題と變奏曲	53
ボートの唄 (H. Aller)	54
樹蔭の泉 (F. ヒッ曲)	56
虫に寄せて (Wrighton)	58
城山の秋 (S. Foster)	60
(小傳) フォスター	61
〔鑑賞〕 ケンタッキーの家 (S. Foster)	61
〔鑑賞〕 主人は冷たい土の中に (")	61
〔鑑賞〕 スザンナ (")	61
〔鑑賞〕 老犬トレ (")	61
出陣の歌 (R. Schumann)	62
〔参考〕 五シューマン	64
〔鑑賞〕 トロイメライ (R. Schumann)	65
〔鑑賞〕 行軍 (")	65
〔鑑賞〕 行進曲「双頭の鷲の下に」 (J. F. Wagner)	66

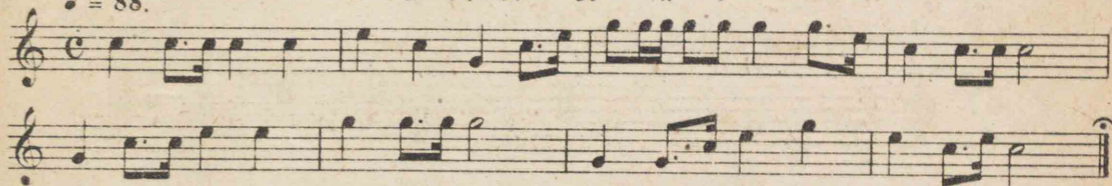
〔鑑賞〕 ナチス行進曲 (旗を掲げて) (G. Groschwitz)	66
〔鑑賞〕 ファッシスト行進曲 (ジョビネツァ) (G. Blanc)	67
〔鑑賞〕 滿洲國國歌 (滿洲國文教部撰定)	67
スキーの歌 (黒澤隆朝曲)	68
鳩と泉 (M. Hauptmann)	70
十六 短調の練習	73
長調と短調—長音階と短音階—關係調—短調の導音—轉調	
〔鑑賞〕 金婚式 (Gabriel-Marie)	75
〔鑑賞〕 「ツイゴイネルワイゼン」より (Pablo de Sarasate)	75
暮の鐘 (ボヘミア民謡)	76
海國日本 (Fr. Kücken)	78
花 (瀧 廉太郎曲)	80
(小傳) 瀧 廉太郎	82
才女 (スコットランド民謡)	83
十七 樂典の知識	84
〔一〕 譜表の組合せ	84
〔二〕 音高に變化を與へる記號	85
〔三〕 變位記號と鍵盤	86
〔四〕 切分音	87
〔五〕 強弱を示す標語及記號	88
〔六〕 メトロノームと速度標語	88
〔七〕 指揮法	90
〔八〕 曲想に関する標語	90
〔附録〕 一 發聲・音階練習	92
〔附録〕 二 音程練習 (コールユープンゲン抜萃)	93

一、軍隊喇叭 (禮式)

♩ = 66. 君ガ代 (天皇及皇族 = 對シ奉リ用フ)



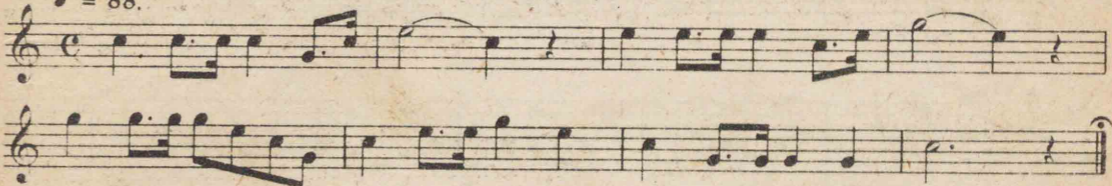
♩ = 88. 足曳 [陸軍] (軍旗 = 對シ用フ)



♩ = 114. 海行カバ (將官 = 對シ用フ)



♩ = 88. 國ノ鎮メ (拜神 = 用フ)



♩ = 96. 水漬ケ屍 [海軍] (靖國神社例祭合祀祭及其遙拜式・其他招魂祭等 = 用フ)



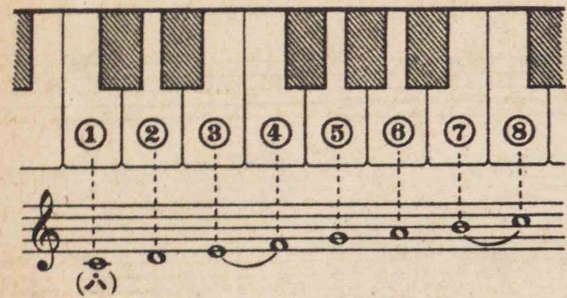
♩ = 114. 吹ナス笛 [陸軍] (一般葬禮 = 用フ)



♩ = 63. 命ヲ捨テテ [海軍] (一般葬禮 = 用フ)



二. ハ長調の復習



ハ長調長音階は「ハ」音を第一音(主音)とする長音階である。此の音階のすべての音は自然音のみで成立してゐる故、之を自然音階とも言ふ。

ハ長調各音上の三和音



1.

2.

3.

雲雀

作曲者不詳

♩ = 96. *mf* *cresc.* *p* *p*

一 カ ス ミ タ ツ ヤ ソ ラ ノ ケ シ キ
二 す み れ つ む や の ベ の け し き

オ モ シ ロ ア ガ ー ル ヒ バ リ ア ガ ー ル
お も し ろ あ が ー る ひ ば り こ る は

サ マ ハ ヒ ラ ヒ ラ ヒ ラ ヒ ラ
お ち て ち よ ち よ ち よ ち よ

ち	こ	あ	野	堇	ひ	あ	あ	空	霞	雲
よ	え	がる	邊	摘	ら	がる	がる	の	立	雀
ち	は	る	の	む	ら	る	る	景	つ	
よ	お	雲	景	や	ら	は	雲	色	や	
	ち	雀	色		ひ		雀	お		
	よ		お		ら			も		
			も		ひ			し		
			し		ら			ろ		

a. 三度下に低音をつけて歌ふ練習.

4.

b. 六度下に低音をつけて歌ふ練習.

三. へ長調の復習

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧

(へ)

へ調長音階は「へ」音を主調音とする長音階で、常に第四音「□」を半音下降させて作る。

之に用ひる變記號を首部記號の次に記載して調號とする。

5.

a. 三度下に低音をつけて歌ふ練習。

6.

b. 六度下に低音をつけて歌ふ練習。

[参考曲]

春の夜

(小學唱歌集より)
F. Harrison.

mf *mf* *mp a tempo* *f rall.* *mf a tempo* *mp rall.* *cresc.* *p* *rit.*

♩ = 108.

一カスミニキニユルカリガノモ
二としひと一りてむかしのひとの

カスカニと一ビクフエノネモ
あそびしよ一はもかかり一け一

ノサマルミヨ一ノ一シラベニ一テ
よはさまさま一と一おもひし一を

タノシキハ一ルノユフク一レ一ヤ
むかしも一まもかくさきにほ

ふはなに一は一そむくひとそなき一

すみれ

ヴァルガ地方民謡

Moderato. (♩ = 72) *mf* *mp* *rit.* *a tempo* *p* *rit.*

一フキアゲタマチルニハベノハナノ
二このよをわがよとおごれるはなの

ホコリモヨソニトスミレハサケリ
いろかもよそにとすみれはさけり

ヤマダノアゼニ
てりそふなかに

ミナベノコカゲニヤマダノアゼニ
くれなるこがねとてりそふなかに

ツツマシスガタノスミレヤアハレ
かそけきゆかり一のすみれやあはれ

二 一

か 紅 色 此 つ 水 誇 噴
そ 照 香 の 世 山 邊 り 泉
け 照 黄 す も 驕 此 ま 山 の す も 庭 玉
み け 金 す み も れる 世 す 田 の す み 邊 散
れ き と れ そ 花 の を わ が ず し 樹 樹 花 の 花 の
や ゆ そ は に と の が が た の 咲 と の の
あ かり中 咲 けり 花の世と には 咲 けり
は の に けり 咲 けり 咲 けり 咲 けり
れ

すみれ

水田詩仙

若草の古戦場

Andantino. (♩ = 84)

スコットランド 民謡

一、ワ カ ク サ ノ モ ユ ル ノ ニ ラ ガ ニ
 ニ、 や た け び に し ろ は ひ を あ び て
 三、 ツ ユ オ ビ テ ア ケ ニ サ ク ハ ナ ハ

ト リ ド リ ニ ニ ホ フ ハ ナ ノ イ ロ
 と き の こ ぶ あ め つ ち に ふ る ふ
 モ ノ フ ノ テ チ シ ホ ノ イ ノ チ カ

ム カ シ ノ カ ゲ ヲ ツ 一 ユ モ ト メ ズ
 し ら の ち ま た か や ま な す か ば ね
 ノ ズ エ ノ ハ テ ニ コ ケ ム ス イ シ ヤ

ヘ イ ワ ノ ヒ ハ ハ ル ノ ソ ラ ニ ミ ツ
 う ら み つ き じ ル わ か き も の の シ ズ エ
 ム カ シ カ タ ヤ カ タ ノ ノ イ シ ズ

若草の古戦場 水田詩仙

一 若草の燃ゆる 野に丘に
 とりくくに 匂ふ花の色
 昔の影を 露もとめず
 平和の陽は 春の空に充つ

二 矢たけびに城は兵變を浴びて
 関の聲 乾坤にふるふ
 修羅の巷か 山なす屍
 恨つきじ 若き武士の

三 露おびて 朱に咲く花は
 武士の 血潮の生命か
 野末の涯に 苔むす石や
 往古語る 館の礎

四. ト長調の復習

(ト)

ト調長音階は「ト」音を第一音とする長音階で、常に「ヘ」音を半音上げて此の音階の第七音とする。長音階の第七音は常に主調音に導かれる位置にあるを以て之を導音と稱へ、常に主調音と半音程をなす。

7. *a. 三度下に低音をつけて歌ふ練習。*

8. *b. 六度下に低音をつけて歌ふ練習。*

9.

[鑑賞] ワルツ調 F. Lehar.

Moderato.

10.

ももとせりのふーるき
そのとりーやーいーづこ

かっこい かっこい かっこい かっこい かっこい かっこい かっこい かっこい
かっこい かっこい かっこい かっこい かっこい かっこい かっこい かっこい

むかしよーりーあーはれ
のたにまーにーはーつね

かっこい かっこい かっこい (p) かっこい (pp) かっこい あーはれ
かっこい かっこい かっこい かっこい かっこい はーつね

くすしくーもーうーたは
まなびてーぞーうーたは

くすしくーもーうーたは
まなびてーぞーうーたは

かはらずかっこい かっこい かっこい め
ならへるかっこい かっこい かっこい

かはらずかっこい かっこい かっこい
ならへるかっこい かっこい かっこい

「讚へよ春」と 年毎に來鳴くよ

あゝこゝちよのしらべ 若葉はそよぐ

かっこい かっこい かっこい かっこい
かっこい かっこい かっこい かっこい
かっこい かっこい かっこい かっこい
かっこい かっこい かっこい かっこい

初音學びてぞ 歌は習へる

めぐしきその鳥や いづこの谷間に

あはれくすしくも 歌はかはらず

ちとせも、とせの ふるきむかしより

「讚へよ春」と 年毎に來鳴くよ

あゝこゝちよのしらべ 若葉はそよぐ

かっこい かっこい かっこい かっこい
かっこい かっこい かっこい かっこい
かっこい かっこい かっこい かっこい
かっこい かっこい かっこい かっこい

五月の空に
のどかにひびく

五月の空に
のどかにひびく

郭公ワルツ

水田詩仙

[鑑賞] ワルツ「波上にて」

J. Rosas.

Tempo di Valse.

legato

[鑑賞] ワルツ「金と銀」

Lehar.

Tempo di Valse.

ワルツ……圓舞曲ともいひ、ドイツに起つた三拍子の社交舞踊曲である。ワルツは元來は緩やかな四分の三拍子の曲であるが、ウィennaワルツなどといふ速い八分の三拍子風のワルツも行はれるやうになつた。多くのワルツ曲は數曲のワルツを組曲としたものである。ヨハン・シュトラウスはワルツ王といはれたワルツの代表的作曲家である。

五. 長音階構成法

テトラコード……長音階を二分せば次の四音配列の重複からなる事を知る。之の四音の配列の形を四絃(テトラコード)といふ。

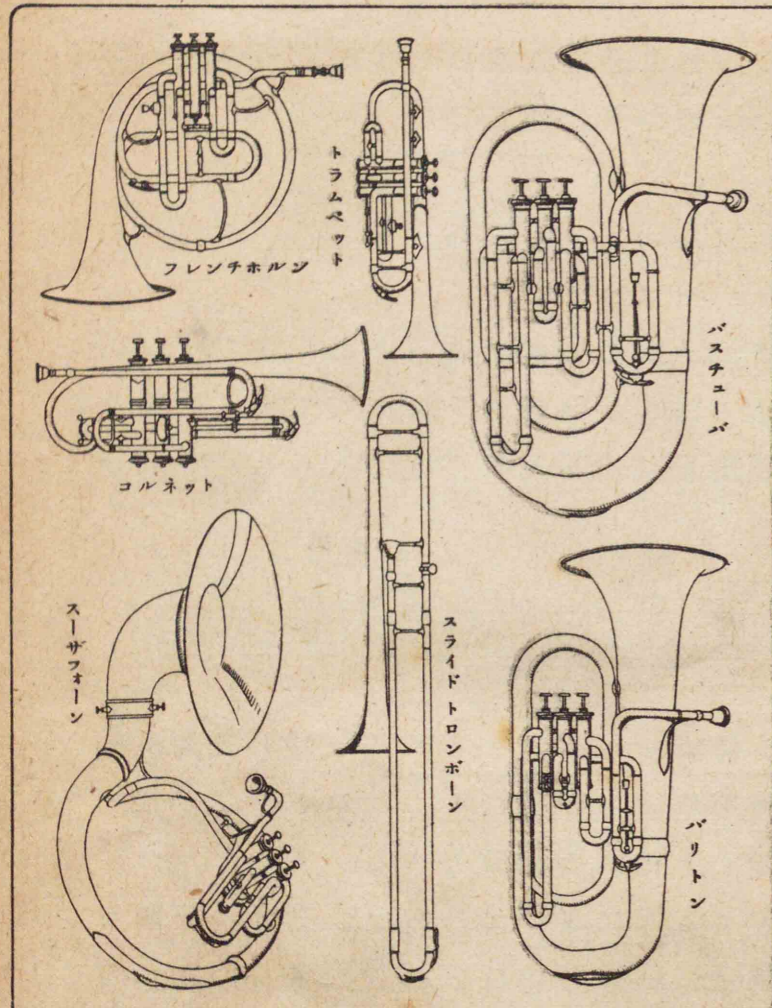
音階構成法……これに新しい次の四絃を加へる事によつて、新音階が作られる。此の方法で新しい音階を構成して行く方法を音階構成法といふ。今ハ長調を基礎として上方にそれぞれ長音階を構成して見るに

1・2の四絃でハ長調が構成せられ、2・3の四絃でト長調が構成される。3の四絃はヘ音を半音上げて作り、此のヘ音に變化を與へる嬰記號を譜首に出してト長調の調號とする。

4の四絃はハを嬰ハとする事によつて作られ、3・4の四絃はニ長調を作り、ニ長調の調號はヘ・ハの位置に嬰記號を附して作る。嬰種長音階……嬰記號を調號とする長音階を嬰種長音階といひトニ、イ、ホ、ロ、嬰ヘ、嬰ハ、の七調が此に屬す。

變種長音階……四絃を下方に重複して構成する時は變種長音階が作られる。即ち3の四絃はロ音を半音下げて作り、2・3の四絃でヘ長調が構成される。かくして變ロ、變ホ、變イ、變ニ、變ト、變ハの七調が各々下方五度に作られるのである。

金管楽器 (一)



スライドトロンボーン



ホルネット



バスチューバ

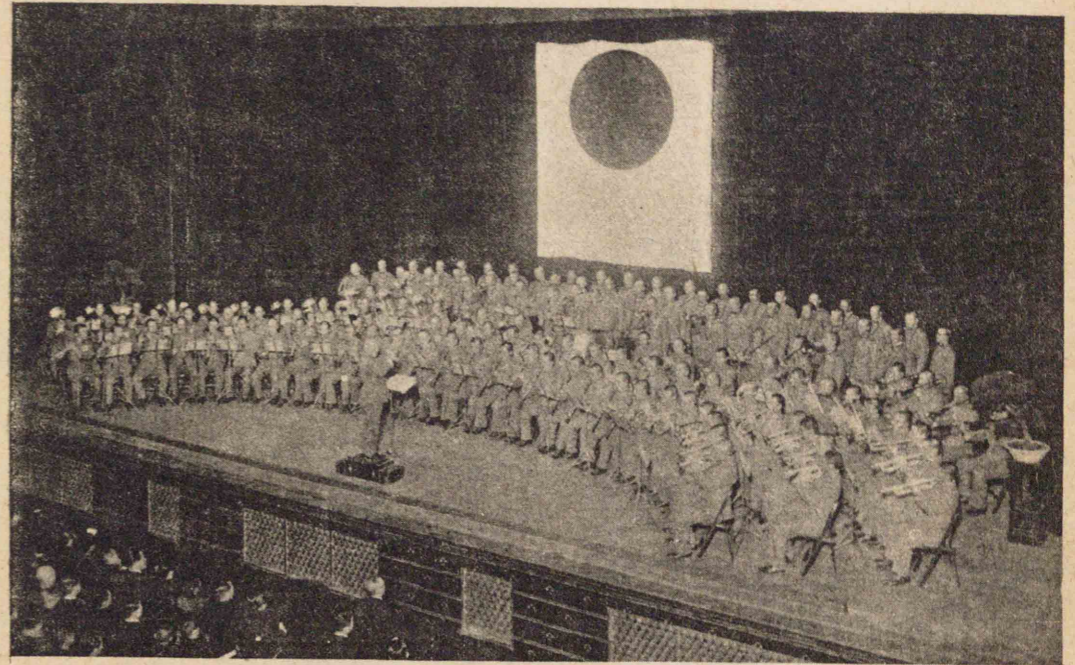


トランペット

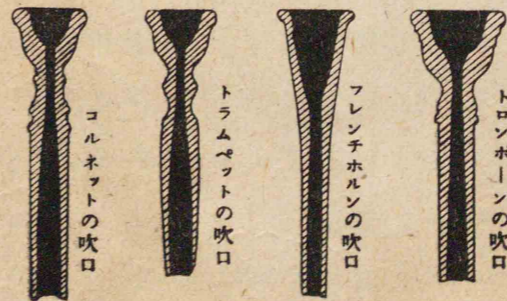
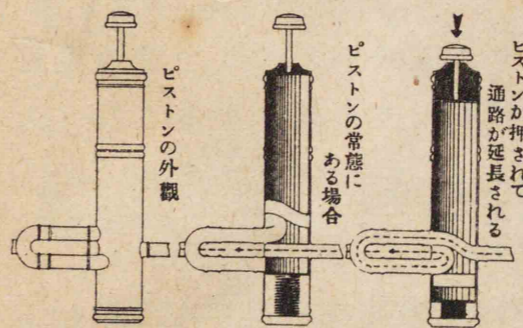


フレンチホルン

金管楽器 (二)



軍楽隊 ブラスバンド

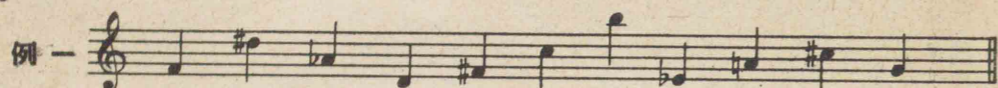


スーザフォン

六. 旋律の構成

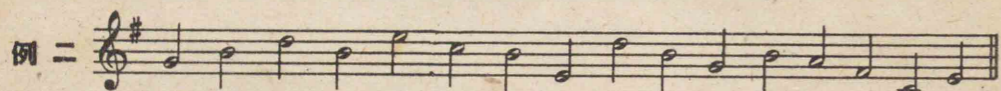
旋律……高さの異なる音の時間的連続を旋律といふ。而してこれには種々の制限があるのである。

次の楽譜は音の時間的連続ではあるが、旋律といふことができない。



此の曲は歌ひにくい許りでなく、少しも音の前後の關係に纏りが無い。従つて安心さもなければ美しさもない。之は調性といふものが缺けてゐるからである。

調性……今調性をはつきりさせる爲に、ト長調の各音によつて次の例曲を作つて見た。併しこれもト長調であることは解るが旋律として纏りが無い。

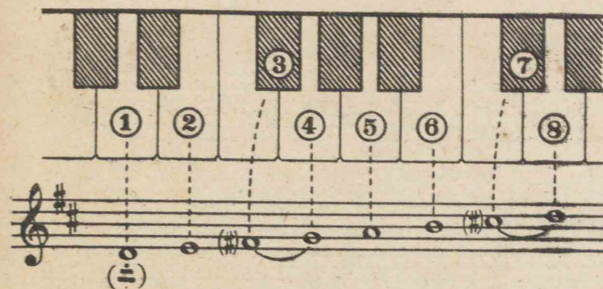


之を例三の如くに二拍子としてリズムを明かにし、音の集團にある統一を與へる時は、立派に旋律としての纏りを生ずる。



終止法……この相對する二つの部分を樂節とよんでゐるが、この樂節を作つたものはその最後の音の落つき方である。これを特に終止法とよんでゐる。即ち前樂節は屬和音に終り、後樂節は主和音に終つてゐる。而して屬和音を経て主音上に旋律の終る終止を正格完全終止といひ、旋律の最後の段落を示すものである。それ故、これによつて終止するまでの部分を樂段とよんでゐる。そして屬和音で結ぶ終止を半終止といひ、樂段の中間に於いて樂節を作る場合に多く用ひられる。

七. ニ長調の復習



ニ長音階は「ニ」音を主調音とする長音階で、第三音「ヘ」と第七音「ハ」を嬰記號によつて各々半音上げて作られる。此の「ヘ」「ハ」に附けられる嬰記號を音部記號の次に記載してニ長調の調號とする。



[参考曲]

母のおもひ

(小學唱歌集より)

♩ = 92.

Musical score for the song 'Mother's Love' with lyrics in Japanese. The score includes a melody line and a piano accompaniment line, with dynamic markings like mf and p.

水に映る影

Moderato. (♩=96)

M. Glinka.
編者編曲

mf

一、ミ 一、ツニウ ツ 一、ルカゲ ヨ ユ ク シ ラ
 ニ、み 一、づにう つ 一、るかげ よ ち る は な

mf

一、ミ ツ ニ ウ 一、 ツ 一、ルカゲ ヨ ユ ク シ ラ
 ニ、み づ に う 一、 つ 一、る かげ よ ち る は な

mf

ク モ ミ 一、ツニウ ツ 一、ルカゲ ヨ ト
 び ら み 一、づにう つ 一、る かげ よ す

mf

ク モ ミ ツ ニ ウ 一、 ツ 一、ルカゲ ヨ ト
 び ら み づ に う 一、 つ 一、る かげ よ す

mp

ブ ツ バ メ ヨ コ ニ ハ ノ イ ケ ニ モ
 む つ き か げ こ に は の い け に も

mp

ブ ツ バ メ ヨ コ ニ ハ ノ イ ケ
 む つ き か げ こ に は の い け

p

ウ ツ ル ヨ ノ ス ガ タ オ モ 一 シ ロ ノ
 と き は め ぐ り つ つ お も 一 し ろ の

p

ウ ツ ル ス ガ タ オ 一 モ 一 シ ロ ノ
 と き は め ぐ り る お 一 も 一 し ろ の

mf

ミ 一 ツ ノ オ モ ミ ヨ シ ツ カ ニ
 み 一 づ の お も み よ し づ か に

mf

ミ 一 ツ ノ オ モ ミ ヨ シ ツ カ ニ
 み 一 づ の お も み よ し づ か に

mf

カ 一 ゲ ハ ウ ツ 一 ル ト ハ ニ カ ゲ ウ ツ ル
 か 一 げ は う つ 一 る と は に か げ う つ る

mf

カ ゲ ハ ウ 一 ツ 一 ル ト ハ ニ カ ゲ ウ ツ ル
 かげ は う 一 つ 一 る と は に か げ う つ る

水に映る影

水に映る影よ 行く白雲

水に映る影よ 飛ぶ燕よ

小庭の池にも 映る世の姿

面白の水の面

見よ静かに 影は映る

永久に影映る

水に映る影よ 散る花片

水に映る影よ 澄む月影

小庭の池にも 時は運びつゝ

面よ静かに 影は映る

永久に影映る

水に映る影よ

水に映る影

水田詩仙

八. 變口長調の復習

變口長音階は「變口」音を主調音とする長音階で、「口」と第四音「ホ」が變記號によつて各々半音下げられてゐる。變口長調は口長調より半音低い調である。

15.

16.

[参考曲]

春の山野

藤村 俊歌
W.B. Bradbury 曲

♩ = 120. *mf*

一 ス ス メ ス ス メ ハ ナ ノ ヤ マ ヤ ヘ ニ カ ス ム ハ ル ガ ス ミ コ
二 う た へ う た へ は る の の に わ か く さ さ そ ふ か げ ろ ふ か

コ ロ ヒ ロ ク キ モ ウ ラ ラ ス ス メ ス ス メ ト キ ハ イ マ
ぜ あ た た か そ ら は る る う た へ う た へ と き は い ま

モ モ ト リ ウ タ ヒ ク レ バ ハ ナ ノ コ ズ エ ユ ラ ギ テ ト
た は む る る こ て ふ の む れ か な た こ な た お ひ ゆ く と

キ ナ ラ ス ハ ナ フ ブ キ ハ カ シ ラ ヲ シ ロ ク イ ロ ド ル
も だ も の そ の あ し ど り こ れ こ そ は る の を ど り や

ビゼー (Georges Bizet. 1838 — 1875) はパリーに生れた歌劇作曲家である。ビゼーは「カルメン」一曲だけでフランス歌劇の第一人者として尊敬せられるに至つた。猶「アルルの女」序曲等も時々演奏されてゐるものである。ビゼーは九歳の時パリーの音楽院に入り當時一流の教師についてオルガン、ピアノ、和聲學、歌劇等を勉強した。「カルメン」は1875年3月パリーのオペラコミック座で初演した四幕物の悲歌劇で、その後世界の各歌劇場で競つて演出した。

[鑑賞]

カ斯塔ネットの歌 (「カルメン」より)

Allegretto. *mf* Bizet.

mf

f *Fine.*

f D.C.

[鑑賞]

歌劇「カルメン」中の闘牛士の歌

Allegro moderato. *p* Bizet.

p

cresc.

日本帝國

(ノルウェー國民歌)
C. Blom.

Allegro con spirito. (♩ = 104)

一. ヒノモトト ソノナヲオヒ ヒノゴトク サカエ
二. あしはらの なかつくには ことだまの さかえ
三. コノヨナル ホウライキツト ウチートニ シルキ

ヒノマルヲ ハタジルシニ ヨモノウミヲ テラ ス
みづほなす たーりーほの ことたるのく になり
オホヤシマノ ソノシマジマ ハルアキノヨ ソホヒ

コレゾワガ ミオヤノクニ コレゾワガアレシクニ
これぞわーが みおやのくに これぞわがあれしくに
コレゾワガ ミオヤノクニ コレゾワガアレシクニ

チウカウイッタイ クンシンフリノータ グヒマレナル クニナリ
とうやうせんしん さんげふぶん(わ)の ひかりさきはふくになり
サンシスキメイ フウクウメイビノ ヨニモルキナキラクエン

日本帝國

桑田つねし

一 日の本と その名を負ひ 日の如く 榮え
日の丸を 旗じるしに 四方の海を 照らす
之ぞ 我が御祖の國 之ぞ 我が生れし國
忠孝一體 君臣不離の 類稀なる國なり

二 葦原の中つ國は 言靈の榮え
瑞穂なす 垂穂の ことたるの國なり
之ぞ 我が御祖の國 之ぞ 我が生れし國
東洋先進 産業文華の 光り幸はふ國なり

三 此の世なる 蓬萊境と 内外にしるき
大八洲の その島々 春秋の粧ひ
之ぞ 我が御祖の國 之ぞ 我が生れし國
山紫水明 風光明媚の 世にも類なき樂園

〔童 貴〕
牧 童

アイルランド民謡

19. *Andante.*

樂しき農夫

植村甫

一 晨の星の光 野良行く道々うすれて
 堤につゞく櫻 初花愛でつゞく鋤とる
 たのしき朝の労働
 かぐるき土の香 日毎に暢びゆく麥の穂
 たのしき朝の労働
 み空に鳴くは雲雀 耕す歌聲に交る
 二 入相告ぐる鐘に 木鋤を擔ひて歸れば
 門邊に子等は待ちて 諸手にすがりてさゞめく
 たのしき夕の歸り
 宵闇こむる小川 手足を洗ふ音さやか
 たのしき夕の歸り
 利鎌の穂先白く 月影おぼろに登れり

九. 變ホ長調の復習

變ホ長音階は「變ホ」音を主調音とする長音階で「ホ」と「イ」「ロ」の三音に變記號を有し、ホ長調より半音低い調である。

20.

樂しき農夫

Moderato. (♩ = 96)

R. Schumann.

一. ア シ タ ノ ホ シ ノ ヒ カ リ ノ ラ ユ ク ミ チ ミ チ ウ ス レ テ
 二. い り あ ひ つ ぐ る か ね に こ ぐ は を に な ひ て か へ れ ば

ツ ツ ミ ニ ツ ズ ク サ ク ラ ハ ツ ハ ナ メ デ ツ ツ ク ハ ト ル
 か ど べ に こ ら は ま ち て も ろ て に す が り て さ ざ め く

タ ノ シ キ ア サ ノ ツ ト メ カ グ ロ キ ツ チ ノ カ ラ リ
 た の し き ゆ ふ の か へ り よ ひ や み こ む る を が は

ヒ ゴ ト ニ ノ ビ ユ ク ム ギ ノ ホ タ ノ シ キ ア サ ノ ツ ト メ
 て あ し を あ ら ふ お と さ や か た の し き ゆ ふ の か へ り

ミ ソ ラ ニ ナ ク ハ ヒ バ リ タ ガ ヤ ス ウ タ ゴ エ ニ マ ジ ル
 と が ま の ほ さ き し ろ く つ き か げ お ほ ろ に の ぼ れ り

一〇．楽曲の形式

楽曲の構成……旋律は前にも述べたやうに、拍子と調性とを持ち、完全に終止した、均勢のとれた音の連続であるが、これを一層明瞭にする爲にもう一度前の例曲を見直したい。

例一

即ちこれは完全終止一箇をもつ楽段であり、半終止と完全終止とで区分された、四小節づつの二つの楽節で作られた旋律である。動機……之を更に小さくする時は、二小節からなる樂片を得る。之等は最初のアクセントに率ゐられた、音楽的意味を含む最少限度の音群である。この様に一つのアクセントに包括される、最も短い樂片を動機とよんでゐる。動機は多く二小節からなるものである。

例二 (Rinck)

例二の曲も二小節づつの動機をなして居る。そして二動機が均勢を保つて樂節を作り、二樂節が更に對照し合つて樂段を作つてゐる。しかもこれらの四箇の動機を見るに、一三の動機と、二四の動機とはそれぞれ同一リズムに置かれてゐるが、第二の動機とはいへ、結局第一動機の變形である故、之は一般に同一動機の變化によつて作られた曲と見做されるものである。

一部分形式の曲……完全終止を一箇有する旋律、即ち一樂段よりなる楽曲を一部分形式の曲といふ。次の各例曲は動機の現れ方の種々の場合を示したものである。

例三 (Haydn)

例四 (フランス曲)

例五 (Nägeli)

二部分形式の曲……樂段二箇を有する楽曲を二部分形式の曲といふ。

例六 (Foster)

唱歌・民謡のたぐひは多くこの形式によつて作られたものである。

三部分形式の曲……樂段三箇を有する楽曲を三部分形式の曲といふ。

例七

三部分形式の曲にあつては第二部は屬調、又は關係長短調に轉調する事が多い。そして第三部は普通第一部を反復して作られる。

以上はその典型的な例を示したに過ぎないが、樂節の長さ、終止等に於いても幾多の例外がある事を知らねばならぬ。

歌謡形式……一部分形式、二部分形式、三部分形式は多く歌謡の作曲に用ひられる故、歌謡形式といはれてゐる。

ブラームスの子守歌

J. Brahms.

Con moto teneramente. (♩ = 72)

一. ネムレ ネムレ ユー
二. ねむれ ねむれ ゆー

メノ ソノ ニ ウー ル ハ シー キ ハー
め の も り に うー つ く しー き とー

ナーゾ サ ク アシ タ カネ ノ オト ナ フ マ
りーぞ な く ねむれ ちごよ ひー と み と

pp
デ ハ ナ ノ ソノ ニ アソ ビーテ ミ ヨ
ぢ も り の かげ に うた ひーて み よ

Con moto (コン モート) [伊] 感動して。
teneramente (テネラメンテ) [伊] 柔かに。

ブラームスの子守歌

藤村 俊

一 眠れ 眠れ
夢の園に うるはしき
花ぞ咲く
あした 鐘の訪ふまで
花の園に 遊びて見よ
二 眠れ 眠れ
夢の森に うつくしき
鳥ぞなく
ねむれ 稚子よ ひとみ閉ぢ
森の蔭に 歌ひて見よ

【参考】ニ

ブラームス

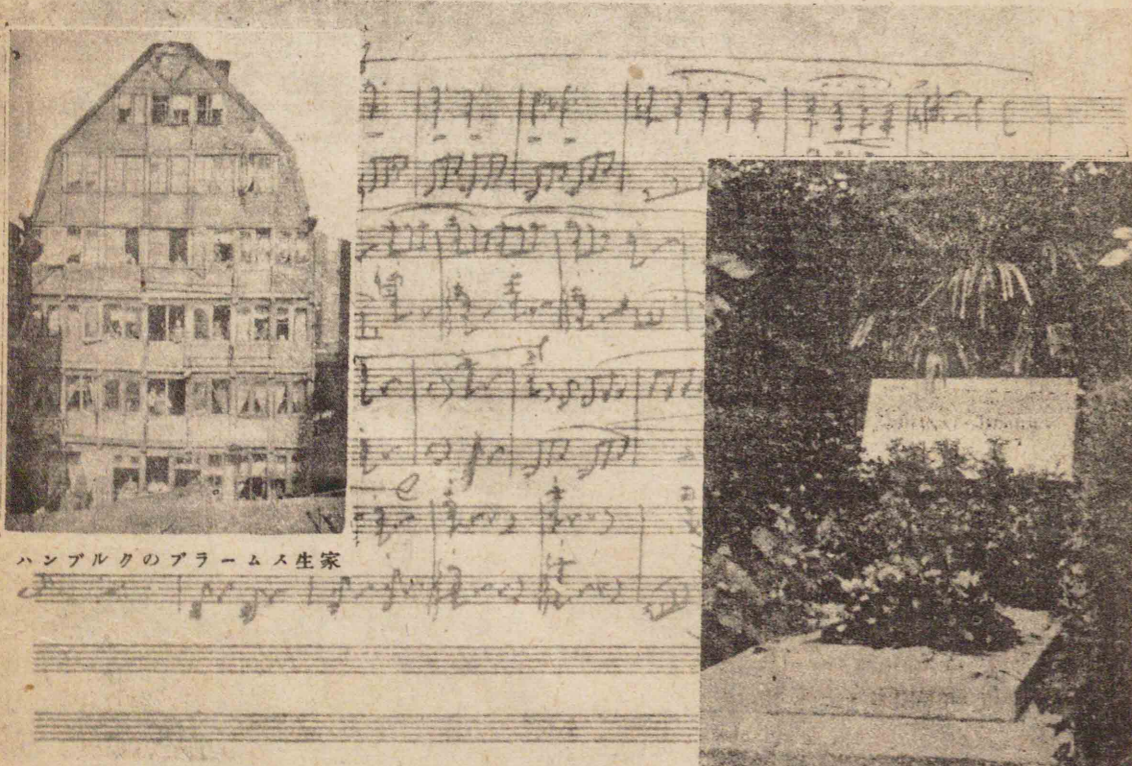


ブラームス (Johannes Brahms, 1833-1897) はドイツのハンブルクに生れた大作曲家で、ドイツが世界に誇るBの三大音楽家(バッハ、ベートーヴェン、ブラームス)の一人として有名である。父はコントラバスの演奏家で、家庭に於いて初歩の音楽教育を受けた。十四歳の時初めてピアノを公演して大成功を得た。殊にシューマンはこの聰明なる少年を非常に愛し、大いに激励した。彼はウィーンに出て此所で一生を作曲生活に捧げた。



ブラームスの影像

彼の作風は極めて健實で、古典的作風を愛し、輕薄な名譽心に迷はず、只管良き作品の製作を勵み、その殘す處管絃樂曲、ピアノ曲、ヴァイオリン曲、その他の器樂曲、それに二百餘の美しい歌謡曲がある。ブラームスは六十餘年の生涯をウィーンに終り、ベートーヴェン、シューベルト等と相並んで葬られた。



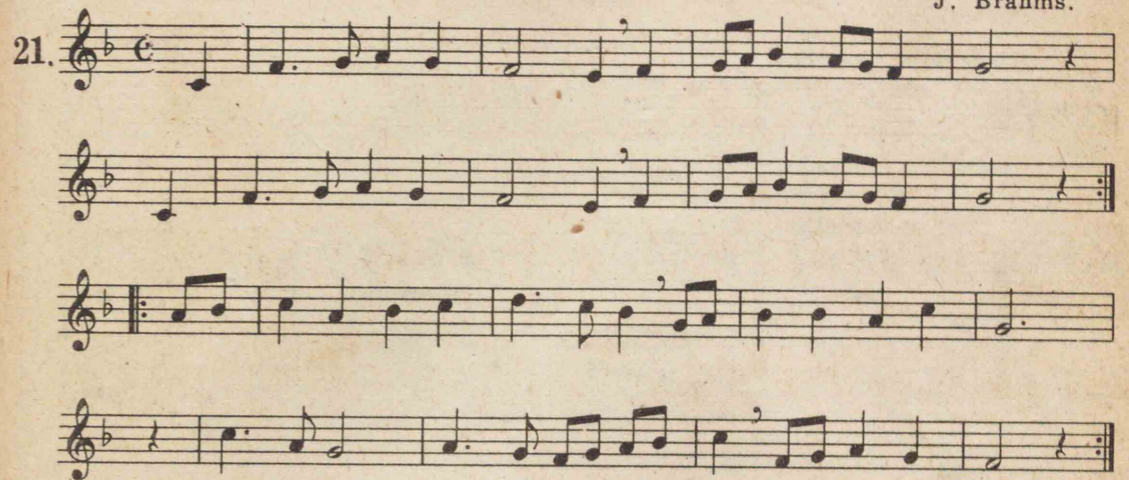
ハンブルクのブラームス生家

ブラームスの自筆樂譜

ウィーンにあるブラームスの墓

[鑑賞] 眠りの精

J. Brahms.



白百合

黒澤隆朝

一 綠濃き谿路を

露あびて歸る

鄙ひなの少女をとめ子の

かしらに翳かすす

山の白百合

きよきその姿

花ぞ少女をとめ

をとめぞ花

たかきかをり

ゆかしの色

二

とりくくに色濃く

咲く花に交る

實げにこそソロモンの

榮耀さかえにまして

幸さいある白百合

潔きその姿

花ぞみ神

みかみぞ花

たかきかをり

ゆかしの色

白百合

J. Brahms.

Moderato. (♩ = 88)

p

一ミドリ コ キ タニ デーラツユア ビ テ カヘ
 二とりどりにいろこくさくはなにまじ

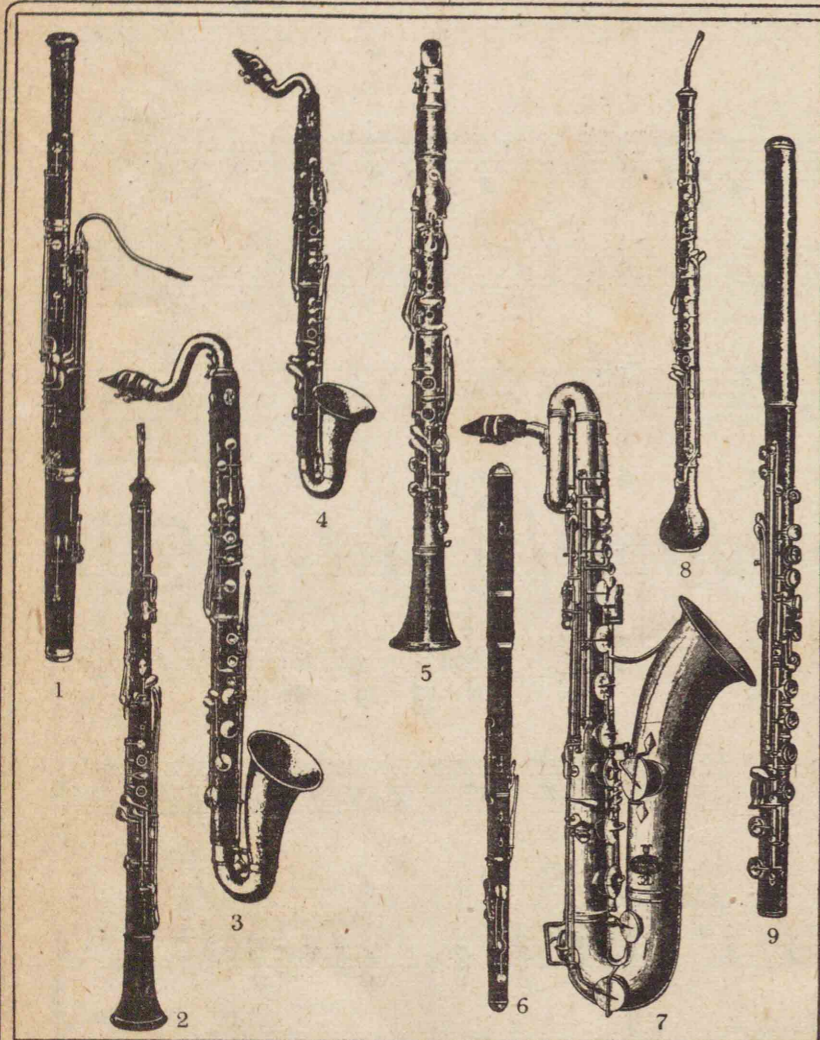
ル ヒナノ ラトメ ゴーノ カシラ ニ カザ
 る げにこ そソロ モンの さかえに まし

mf

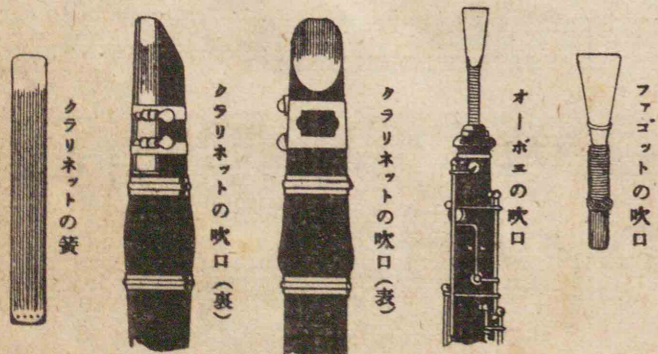
ス ヤー マ ノシラ ユ リ キ ヨ キソノ
 テ さ ら あ る し ら ゆ り き よ き そ の

ス ガ タ ハナゾ ラトメ ラトメ ゾ ハ ナ
 す が た は な ぞ み か み み か み ぞ は な

タカキ カヲリ ユカシ ノイ ロ
 たかき かをり ゆかしのいろ



1. ファゴット 2. オーボエ 3. バスクラリネット 4. バセットホルン 5. クラリネット
6. 舊式フルートの鍵 7. サクソフォーン 8. イングリッシュホルン 9. ベームフルート



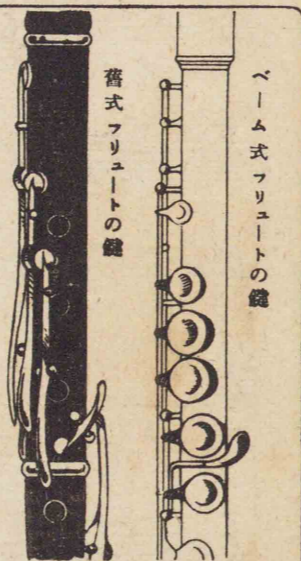
クラリネットの簧

クラリネットの吹口 (B)

クラリネットの吹口 (B)

オーボエの吹口

ファゴットの吹口



舊式フルートの鍵

ベーム式フルートの鍵



ファゴット



コントラ ファゴット



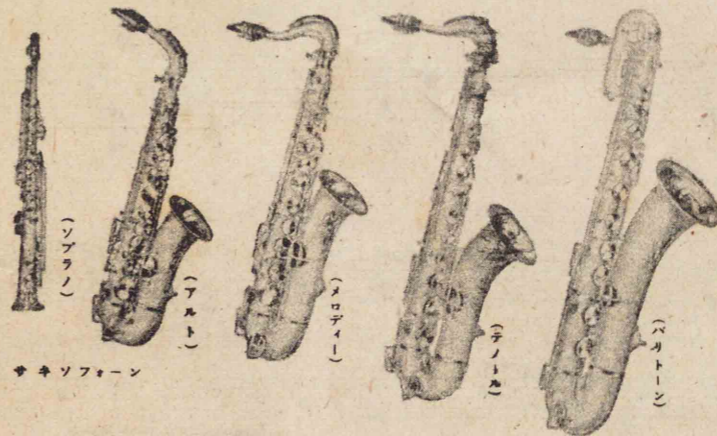
クラリネット



バス クラリネット



フルート



サキソフォーン

(ソプラノ)

(アルト)

(メロディ)

(テノール)

(バリトーン)



イングリッシュホルン



- フルート系
 - フルート
 - ベームフルート
 - ピッコロフルート
- クラリネット系
 - クラリネット
 - バスクラリネット
- オーボエ系
 - オーボエ
 - イングリッシュホルン
 - ファゴット
 - コントラファゴット

サキソフォーンはクラリネットの吹口を利用した物である。オーボエ

牧人の歌

Karl Greger.
編者編曲

Andantino. (♩ = 88)

mp

p ラ ラ ラ

一 ア シ タ ノ ツ キ カ ゲ シ ロ キ
二 き の む の つ ぼ み は は ふ は

mp

p

mp

p ラ

ア タ リ ウ シ オ フ ワ レ ラ ノ
は な と み ち べ の く さ さ へ

mp

p

mp

mf

ラ ラ ラ ラ
コ コ ロ タ ノ シ ハ ヤ ク モ イ ソ
ヒ ご と た の し つ ぐ み は た に

mp

p

mp

シ ム ハ ナ ト フ ハ チ ヤ ム ギ
ま に ひ ば り は そ ら に た の

mp

mf

p ラ

ノ ホ ナ ミ ニ ア サ ヤ ケ ユ ル ル
し く う た ひ け ふ も あ け ゆ く

mf

p

mp

ラ ラ ラ ラ
ラ ラ ラ ラ ア サ ヤ ケ ユ ル ル
ラ ラ ラ ラ け ふ も あ け ゆ く

mp

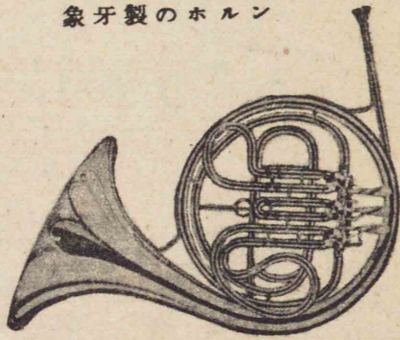
【参考】四

ホルン

ホルン……ホルンとは元來動物の角で作つた「角笛」であるが、これを模して作つた樂器一般をもホルンと呼ぶ様になつた。材料は山羊、牛等の角の外、象牙、金屬、硝子等も用ひられた。これは牧場、狩獵、集會等の合圖に用ひられたもので、金屬で作られる様になつてから管を長くして倍音を多く利用する事が考へられ、更にこの管を巻く方法が試みられ最後にピストンや瓣がつけられて旋律を自由に演奏し得る様に改善された。之が即ちオーケストラに用ひられるフレンチホルンである。今日一般にホルンといへばこれを指してゐる。フレンチホルンの音はトランペットの如く強烈でなく田園風景、狩獵描寫等に好んで用ひられる。



象牙製のホルン



現代のフレンチホルン

牧人の歌

水田詩仙

	二		一	
今日も明けゆく	昨日の蕾は	朝焼ゆるゝ	朝の月影	白きあたり
たのしく歌ひ	路邊の草さへ	朝焼ゆるゝ	牛追ふ我等の	心たのし
今日も明けゆく	つぐみは谷間に	朝焼ゆるゝ	早くもいそしむ	花訪ふ蜂や
	告天子は空に	朝焼ゆるゝ	朝焼ゆるゝ	朝焼ゆるゝ
	今日の花と	朝焼ゆるゝ	朝焼ゆるゝ	朝焼ゆるゝ
	日毎たのし	朝焼ゆるゝ	朝焼ゆるゝ	朝焼ゆるゝ

――. ホ長調の練習

do re mi fa sol la si do
ホ #ハ #ト イ ロ #ハ #ニ ホ

ホ調長音階は「ホ」音を主調音とする長音階で「ヘ」「ハ」「ト」及び「ニ」の四音に嬰記號を有し、第一線を主音とする長音階である。

Martin Luther.

22.

23.

Andante con moto. 歌劇「オベロン」より Weber.

24.

後略

夏を楽しむ

Rossini

♩ = 88.

mf

一 シゲキノ コズエノ カゲノ モトニシクヤ ムシロ
二 あをばの たにまに たくは かれきつるは コーッ ヒェル

スズカゼ セニウケ カナデ キカンポータ プル
ひるげの うたげに ものは たりてうれしや

più mosso

f

一 イザ ワガトモ タカクウ ターヘ
二 いざ わがとも たかくう たーへ

f più mosso

一 イザ ワガトモ タタヘヨナツラ
二 いざ わがとも たたへよなつを

夏を楽しむ

藤村 俊

一 茂木の梢の 蔭のもとに

敷くや蓆

涼風 背にうけ

かなで聞かん ポータブル

繰返「いざ 吾が友 高く歌へ

いざ 吾が友 讚へよ夏を」

二 青葉の谿間に 焚くは枯木

吊るはコッヒェル

晝餉のうたげに

ものは足りて うれしや

繰返「いざ 吾が友 高く歌へ

いざ 吾が友 讚へよ夏を」

サンタ・ルチア

ナポリ民謡
編者 編曲

Andantino. (♩ = 100)

フタル サンタール-チ-ア サンタルチア
 かなた サンタール-チ-ア サンタルチア
 アカサン サンタール-チ-ア サンタルチア

一 シロキホシハ ウミニテ-リ ソヨグ
 二 そよかぜ-を おもにう-け ムねは
 三 ウルハシーキ ヨルノカ-ゲ イヅカ

カゼハ コナモ フク ヲブネ ハヤク ウナモ フタル
 ヨ-ク おとなく ヲマシ ヲルヲ ナミニ かなた
 タ-ニ フネヲ トムル ウマシ ヲルヲ ナミニ アカサン

サンタール-チ-ア サンタルチア ヲブネ ハヤク ウナモ
 サンタール-チ-ア サンタルチア こげや ともよ おきの
 サンタール-チ-ア サンタルチア ウマシ ヲルヲ ナミニ

フタル サンタール-チ-ア サンタルチア
 かなた サンタール-チ-ア サンタルチア
 アカサン サンタール-チ-ア サンタルチア

三 麗しき 夜の影
 何方に 舟をとむる
 うまし夜を 浪にあかさ
 サンタ・ルチア サンタ・ルチア

二 微風を 面にうけ
 舟は行く 音もなく
 漕げや友よ 沖のかなた
 サンタ・ルチア サンタ・ルチア

一 白き星は 海に照り
 そよぐ風は 小波吹く
 小舟疾く 海面わたる
 サンタ・ルチア サンタ・ルチア

水田詩仙

一二. 八分の六拍子の復習

6/8

[鑑賞]
 タウベルトの子守歌

Andantino con moto. W. Taubert.

25.

[鑑賞]
 聖夜

F. Grüber.

26.

(原調へ長調)

ドイツ民謡

27.

[参考曲]

ロオレライ

近藤朔風歌
Silcher. 曲

♩ = 100.

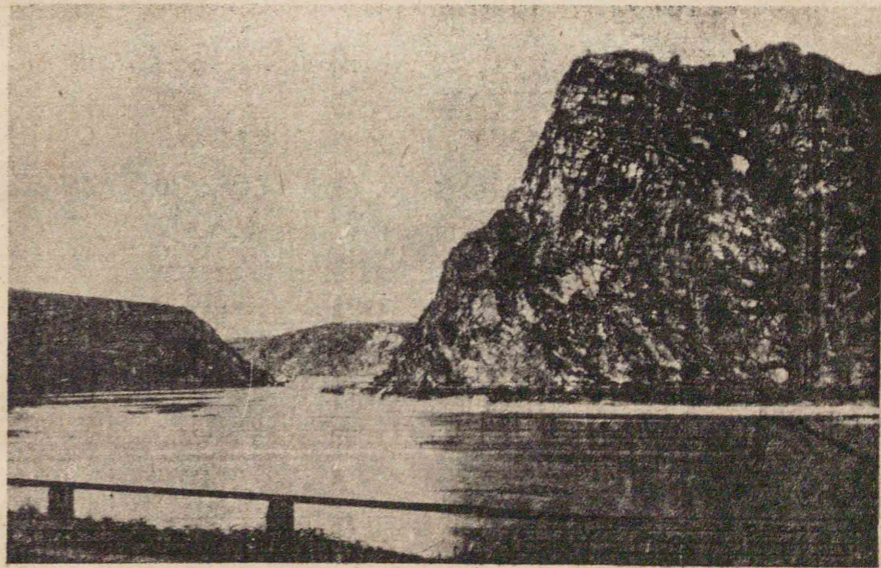
一 ナ ジカハシーラ ネドココロタービテ ムカシノツータ
 二 う るはしをーと めのいはにたーちて こがねのくーし
 三 コ ギユクフーナ ビトウタニアコガレ イハネモミーヤ

へ ハ ソ ゴ ロ ミ ニ シ ム サ ビ シ ク タ レ ユ ク ラ
 と り か み の み だ れ を と き つ つ く ち ず さ ぶ う
 ラ ズ ア フ ゲ バ ヤ ガ テ ナ ミ マ ニ シ ャ ム ル ヒ

インノナーガレ イリヒニキマキーマアカクハーユル
 たのこゑの くすしきちからにたまもまよふ
 トモフーネ モークスシキマウータウタフロオレライ



ジルヘル (Friedrich Silcher, 1789—1860) 有名なる歌謡曲作家でドイツのヴュルテンベルヒのシュナイトに生れ、初め父から音楽教育を受けた。最初教育家となる積りで師範教育を受け、学校教師となつたが、意を翻へして作曲家となり1815年にはストットガルトで指揮者の位置を得た。それから一年後チュービンゲン大学の指揮者となり、生涯をこの地に送つた。「ロオレライ」の曲は最も知られてゐるが、此の外にも美しい数多の歌曲を出版して名聲を博した。



ドイツライン河の上流ロオレライの岩

深山路

Moderato. (♩ = 132)

ドイツ曲
編者編曲

一. ミ ヤー マチ。 ハ ル カニ フ ミ ワケ イ レ バ キ
二. み やー まら は る か に ふ み わ け い れ は め

クーダニ スズシキ タニノナガレ - ツ
もあやにさけるしろきさゆり - み

ゾーミナー ス シ ラベ ク マーパター エヌ ベシ コ
やーまのーめ が みの ゑ ふーでのーす さ びか お

mf a tempo cresc. cresc.

コ ロ ハー マ ヨ ヘ ド ウ ル ハ シー ヒ ビ キ ニ ツ
も ひ はー の こ れ ど め で た きー か を り を そ

mf a tempo cresc.

カーレシーノ ビ テ ク マー デ カヘ ラ ム -
でー に ひー た し て を らー で かへ ら む -

f rit. rit. f rit.

深山路

黒澤隆朝

一 深山路 はるかに

ふみ分け入れば

聞くだに涼しき 谿の流れ

鼓なす調波まば絶えぬべし

心はまよへど

うるはしひびきに

疲忍びて涙まで歸らむ

二 深山路 はるかに

ふみ分け入れば

目もあやに咲ける白き 早百合

深山の女神の繪筆のすさびか

思ひはこのれど

めでたき薫を

袖にひたして折らで歸らむ

箱根路

Allegro non troppo. (♩ = 108)

F. Hiller.
編者 編曲

一 ツ づークーヤマナー ミコンジウ ニハエ メチーハ
二 す ぎーのーふるきー はやみとな みたち やまーちー

ハ ロ バー ロ ジ ッ シ ウ メ グ ル ス ルー ガー ノ ウ ミ ユ
は ら りー は む ら さ き こ む る や て う のー し ら べ の

フ キ コ ス カ ゼ ニ ア セー ラー ハ ラ ヒ テ ウ タ ハ ン イ ザ ヤ
き え の く か な た い りー ひー あ ふ ぎ て し の ば ん い ざ や

ハ タ コーネーヂーラー ワ ガコエ クレバ
た まーくーしーげー は こねの やまを

ハ コーネーヂーラー ワガコエ クレバ イーヅーノ
た まーくーしーげー は こねの やまをー いーそーげー

ウ ミー ヤ オ キ ノ コ ジ マ ニ ナ ミー ノー ヨー ル ミ ユ
どーも な ほ な ほ あ け が た き よ こーぐーもーの そ ら

ナ ミ ノ ヨ ル ミ ユ ア ソー ミー ガ ウ タ ノ イ シ ブ ミ
よ こ ぐ も の そ ら い ざーよー ひ づ き の つ き し ろ

フ リ テ ソ ソ ロ シ ノ ブ ア ア
あ は く ゆ め の こ と く あ あ

ア リー シー ムー カ シ ノ フ ル ゴ ト ユ カ ナ
ふ りー しー むー か し の こ と の は か な

シ し ア あ ア あ ハ こ ネ チ
し あ あ は こ ね ち

箱根路

水田 詩 仙

一 つゞく山脈 紺青に映え 眼路ははろく 十州めぐる

駿河の海ゆ 吹きこす風に

汗を拂ひて 歌はん いざや

(合唱)箱根路を わが越えくれば

伊豆の海や 沖の小島に

波のよる見ゆ 波のよる見ゆ

朝臣が歌の 碑文舊りて そろ忍ぶ あ、

有りし昔の 故事ゆかし あ、箱根路

二 杉の古木は 闇と並みたち 山路八里は 紫こむる

野鳥の調べの 消えゆくかなた

入陽仰ぎて 忍ばん いざや

(合唱)玉くしげ 箱根の山を

急げどもなほ 猶明けがたき

横雲の空 横雲の空

十六夜月の 月しろ淡く 夢の如く あ、

舊りし昔の 言の葉かなし あ、箱根路

ボートの唄

H. Aller.
編者 編曲

Tempo di Valse. Dolce. (♩ = 152)

ララ ララ ララ ララ ララ ララ

一. コ ゲヤ コ ゲ カ ハ ナ ミ ウ デ ニ ト ベ
二. こ げや こ げ き し ベ に さ かり に ほ

ト す ニ め ナ こ ナ ガ ク ツ ラ ナ ル ー

バ ふ ー フ は な は ヤ て を の ー ベ て ミ わ れ ー を

ララ ララ ララ ララ ララ ララ ララ ララ

ハ マ ー ね ル ー コ こ ゲ げ コ こ ゲ げ コ こ ゲ げ

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ

ナ カ ミ ゼ ハ シ キ ロ ヨ ク ー フ ネ ノ ア
か ぜ は き よ く ー か ほ を か

ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ ラ

ト す ニ め ナ こ ナ ガ ク ツ ラ ナ ル ー

ボートの唄
桑田つねし

一 漕げや 漕げ
川波 腕に飛べば
舟は矢の如く 水面走る

二 漕げや 漕げ
岸邊に さかり匂ふ
花は手をのべてわれを招く

漕げ 漕げ 漕げ
風は清く
顔を掠め心さわやか

漕げ 漕げ 漕げ
波は白く
舟の後に長くつらなる

樹 蔭 の 泉

ドイツ曲
編者編曲

Andantino. (♩ = 84)

mp

mp p

コカゲノイツミニハマコトノトモアリココロ
ニこかげのいづみにハまことのトモありこころ

mp p

ワキツ
るりな
カナシーキートキキタレイザトモヨワキツ
たのしきとききたれいざともよるりな

mf

ルミナワーハツキヌナミダートトモニ
すみなそこにあふるるよろこびちよろ

mf

ウレヒートモニカーナシムソノマゴコロ
づのなみうちことはぐそのまごころ

樹 蔭 の 泉

黒 澤 隆 朝

一 樹蔭の泉には 眞の友あり

心かなしき時 來れいざ友よ

湧き出る水泡は 盡きぬ涙と

ともに憂ひ ともに哀しむ

その真心

二 樹蔭の泉には 眞の友あり

心樂しき時 來れいざ友よ

瑠璃なす水底に 溢るゝ歡喜

千萬の波うち ことほぐ

その真心

城山の秋

S. Foster.

♩ = 76. *mf*

一 ツキシロ ミネニサムク マツガエ カゲモクラシ
 ニゆめかや きみにつくす まことも いまはあだに

mf

ホツツノ コダマキエテ フケユクシジマノアキノヨア
 たまつき やいばをれて やまはだうづむるしかばねあ

pp *mf*

ハレ アハレ カゼモナゲケ ウラミハツキセジシロヤマ
 はれ あはれ つゆもむせべ うらみはつきせじしろやま

孤軍奮闘破圍還
 吾劍已摧吾馬斃

秋風埋骨故郷山

城山

西郷南洲

二 夢かや 君につくす
 誠も今はあだに
 弾つき 又折れて
 山はだ 埋むる屍
 あはれ あはれ
 恨は 盡きせじ
 城山 露もむせべ

一 月魄 峰にさむく
 松が枝 影も暗し
 火筒のこだま消えて
 更けゆく しよまの
 あはれ あはれ
 恨は 盡きせじ
 城山 風も嘆け

上田壽四郎



フォスター (Stephen C. Foster, 1826—1864) は北アメリカ合衆国ペンシルヴァニア州に生れ、殆ど獨學で作曲家となつた。彼は青年時代南部アメリカに旅行し、黒人の旋律を聞き、自ら作詞作曲してその哀傷的な民謡百數十曲を遺した。中にも「故郷の人々」(Old Folks at Home)「ジ一爺や」(Old Black Joe) それに次の四曲はよく知られてゐるものである。

[鑑賞]
 ケンタッキーの家
 (My Old Kentucky Home)

S. C. Foster.

Poco adagio.

29.

[鑑賞]
 主人は冷たい土の中に
 (Massa's in de Cold, Cold Ground)

S. C. Foster.

Poco lento.

30.

[鑑賞]
 スザンナ
 (Oh! Susanna)

S. C. Foster.

Allegretto.

31.

[鑑賞]
 老犬トレイ
 (Old Dog Tray)

S. C. Foster.

Andante con espressione.

32.

出陣の歌

Tempo di marcia. (♩ = 104)

R. Schumann.

一、イマゾキタルケフノコノヒヒゴロマチニマチシコノヒ
ニ、ますらを一がくにつくすときはきたるいざやゆかん

タタカヒーニメサルルヒヨナニニタトヘンコノホマレ
うみにかばねしづむと一もやまにほねをさらすとも

ツツトリテタチハキテイサミユクコノカドデ
おほきみにあたな一すてきうたでやむべーき

チチハハヨハラカラヨヨロコビテワカレンイザヤ
きんおむけつさんぜんねんのくにのちからしめさんいざや

出陣の歌

水田詩仙

一 今ぞ来る 今日此の日
戦に召さるゝ日よ 此の日
何にたとへん此の響 銃とりて
太刀佩きて勇み行く此の門出
父母よ兄弟よ喜びて別れんいざや

二 大丈夫が 國に盡す 秋は来る
海に屍いざや行かん
大君に沈むとも 山に骨を晒すとも
金甌無缺 三千年の 討たて止むべき
國の力示さんいざや

【参考】五

シューマン



シューマン (Robert Schumann, 1810—1856) は南ドイツのツィカウといふ町で生れた。父は書店を業とし、文學に明るい人であつた。彼は五人兄弟の末子に生れ、六歳の頃から師について作曲を學んだが、後亡き母の希望で法律家になる目的でライプテッヒ大學に入學した。然し音樂を全然捨て去ることが出來ず、ヱーク (Wieck) についてピアノを學んだ。しかし過度の勉強から手指を損じ、ピアノ演奏家となることを斷念して作曲を志した。彼の作曲には美しいピアノ曲の外百數十の歌謡曲、その他合奏曲等が多數にある。併しシューマンの功績として忘れることのできない事は、彼の音樂評論である。彼は友人等と音樂雜誌を創刊し、ロマン派の音樂の開拓指導に當り、不遇であつたシューベルトをして一躍歌謡曲の王たるの地位を與へ、更にブラームス、ショパンとによき地位を與へた事である。



ツィカウのシューマンの生家



シューマンとその妻クララ



ボン市にあるシューマンの記念碑

〔鑑賞〕
トロイメライ

R. Schumann.

33. *Andante espressivo.*

Score for Troie-Meise (Op. 10, No. 4) by Robert Schumann. It consists of six staves of music in 4/4 time, marked *Andante espressivo*. The score includes dynamic markings such as *p*, *mf*, and *pp*, and tempo markings like *rit.* and *a tempo*.

〔鑑賞〕
行軍

R. Schumann.

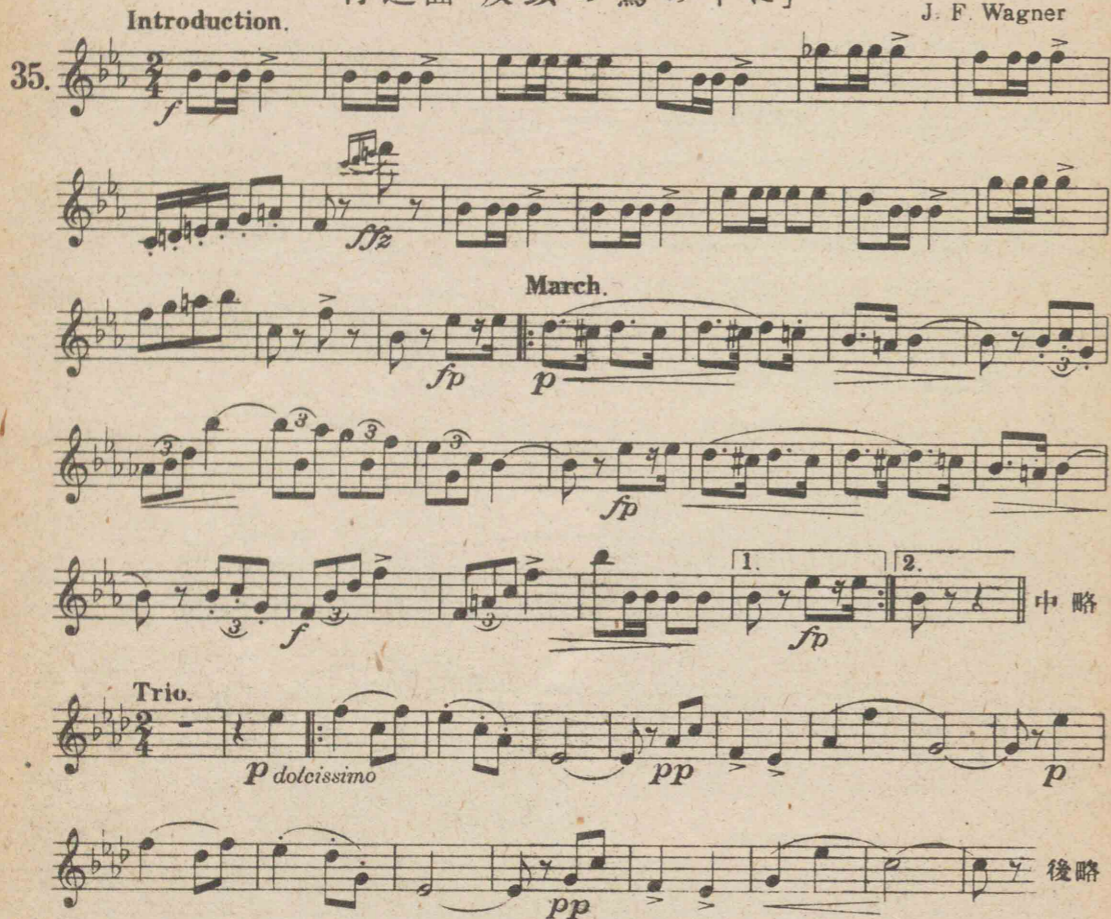
34. *Con moto e ben marcato.*

Score for a March (Op. 10, No. 5) by Robert Schumann. It consists of three staves of music in 2/4 time, marked *Con moto e ben marcato*. The score includes dynamic markings such as *f*.

[鑑賞]
行進曲「双頭の鷲の下に」

J. F. Wagner

35. Introduction.



March.

Trio.

中略

後略

[鑑賞]
ナチス行進曲
(旗を掲げて)

G. Groschwitz

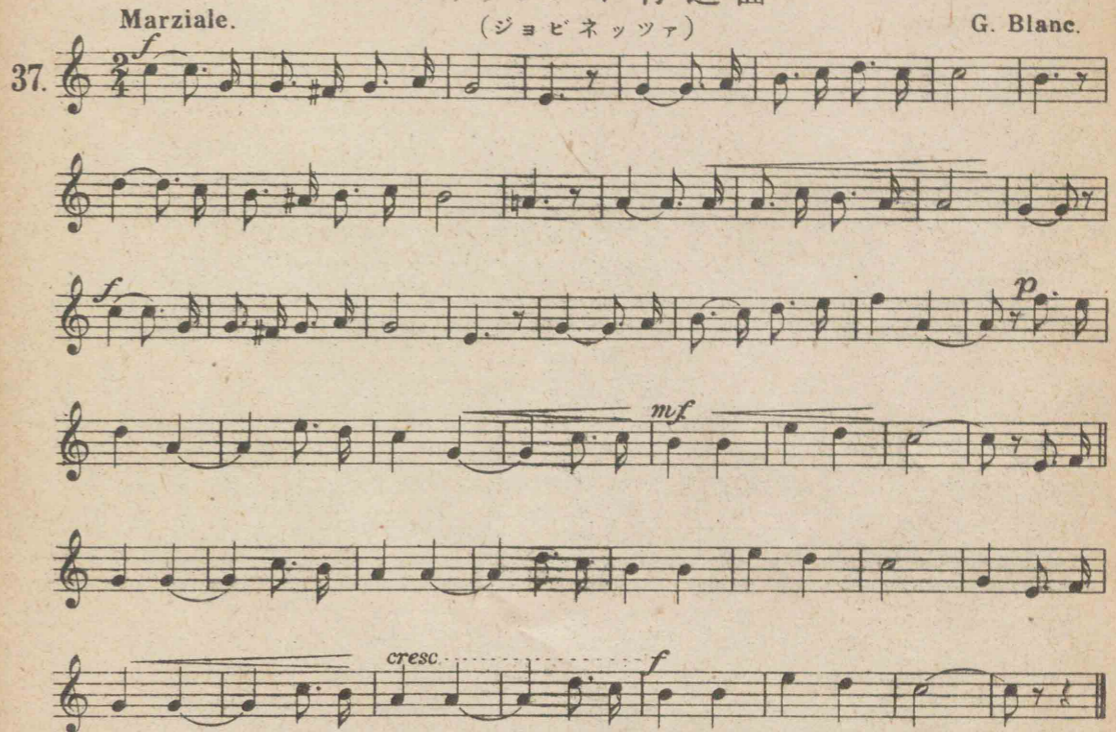
36. Im Marschtempo.



[鑑賞]
ファシスト行進曲
(ジョビネッツァ)

G. Blanc.

37. Marziale.

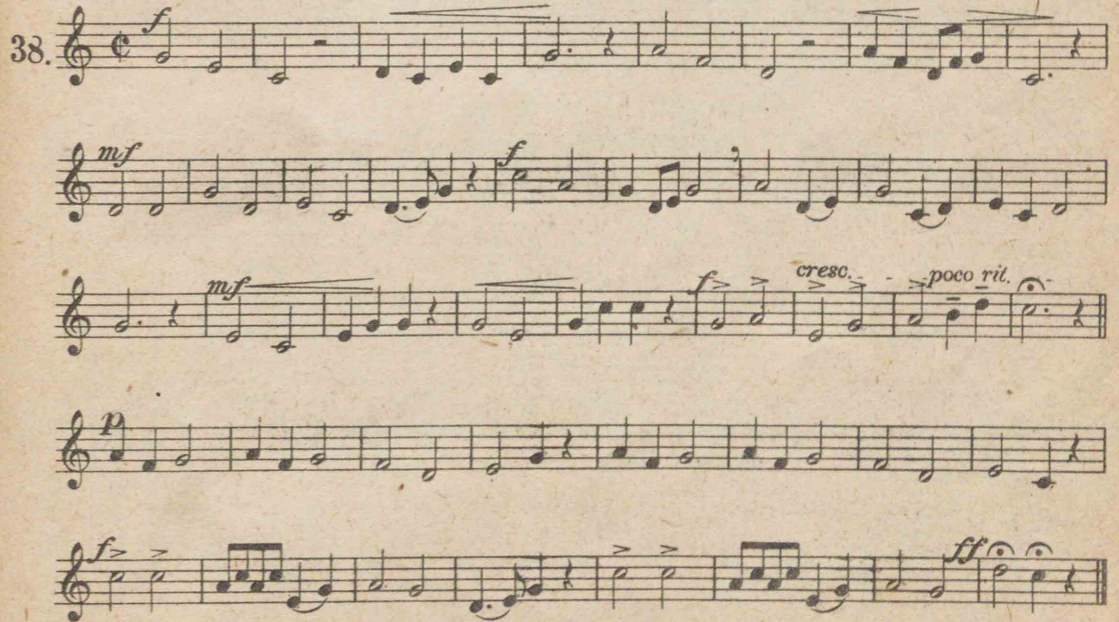


[鑑賞]
満洲國國歌

滿洲國文教部撰定

Maestoso. (♩ = 66)

38.



鳩と泉

M. Hauptmann.

♩ = 112.

mf

一. モリニ ヒハサシ テキギハ カガヤキ ヌアレヨ
二. もりに つきいで てはかけ まばらなりあれよ

ソラタ 一カク ムレトブ ハト アサノ キハキヨ
かなた 一より ふくろふ なく よるの きはすみ

mf

一. モリニ ヒハサシ テキギハ
二. もりに つきいで てはかけ

クコエモ サワヤカ ニ ポッポ ポッポ ナク
てこゑも さえわた り ほっほ ほっほ なく

カガヤキ ヌアレヨ ソラタ 一カク ムレトブ ハト
まばらなりあれよ かなた 一より ふくろふ なく

mf

一. モリニ
二. もりに

ソノ コーエ アハ レーヤ モリヲ
その こゑ あは れや やみを

アサノ キハキヨ クコエモ サワヤカ ニ ポッポ ポッ
よるの きはすみ てこゑも さえわた り ほっほ ほっ

ヒハサシ テキギハ カガヤキ ヌアレヨ ソラタ 一カク
つきいで てはかけ まばらなりあれよ かなた 一より

メ グルコガネ シロガネ ニツバサ カガヤケ ルマシロ
め ぐる.とほく きぬたう つおとに あやなし てひびく

ポ ナク ソノ コーエ アハ レー
ほ なく その こゑ あは れ

ムレトブ ハト アサノ キハキヨ クコエモ サワヤカ
ふくろふ なく よるの きはすみ てこゑも さえわた

ノハト 一コソ ヘイワノ カミ ミクニヤスカレ
そのこ 一ゑは てんちに みつ いけるものみな

ヤ モリ ヲメ グルコガネ シロガネ ニツバサ
や やみをめ ぐる.とほく きぬたう つおとに

ニ ポッポ ポッポ ナク ソノ コー
り ほっほ ほっほ なく その こ

関係調……此の如き関係にある長短兩調を関係調と呼び、各々一方よりそれぞれ関係短調、関係長調と呼ぶのである。

短調の導音……(乙)の例曲の後半を次の(a)の様に歌ふ時は(1a)の音が主調音としての力を失ひ、随つて短調としての感じを失ふ。

今假りに(b)の如く(sol)の音を半音上げる時は、(1a)即ち主調音の性質が明かに感じられて来る。之は嬰ト音が主調音と半音の関係となり、主調音に誘導するやうな性質を帯びて来たからで此の際の嬰ト音を導音と呼ぶ。

(1a)を第一音とした自然音のみの短音階には導音がないが、短調の曲は、普通第七音を半音上げて導音を作る。

轉調……樂曲には長調のみ又は短調のみの同一調で終始する單純なものもあり、関係調を巧みに採り入れて長短調を交錯させ、曲に變化を與へるもの、或ひはその他の調に巧みに轉ずる事によつて、効果を一層擧げやうとするものもある。この様に曲の途中、又は段落に於いてある調から他の調に轉ずることを轉調といふ。學習者は常に調について充分なる注意を拂はねばならない。

Adagio. R. Schumann.

[鑑賞] 金婚式 Gabriel-Marie.

Andantino.

後略

[鑑賞] 「ツィゴイネルワイゼン」より Pablo de Sarasate.

Un poco più lento.

ヴァイオリンにては八音上を奏す。

暮の鐘

ボヘミヤ民謡
編者編曲

Lento. (♩ = 80)

ユ フ ガ ラ ス ヒ ト ツ ト モ ノ
ニ ム ラ ス ズ め さ り て か ど た

ユ ク ヘ ヨ ビ テ カ ケ ル ツ ラ
さ む く く れ ぬ ゆ ふ づ つ は

ク レ チ カ ク サ ト ノ ヒ - モ マ バ ラ
か が や か に ふ ゆ ぞ ら - に か か り

イ ツ チ ヨ リ ツ タ ヘ ク ル
よ ひ や み の や ま の は を

カ ネ ノ オ - ト サ ム シ
か ね の お - と さ な が る

暮の鐘

水田詩仙

一 夕鳥一つ 友の行方呼びて

翔る空 暮近く

里の灯もまばら

いづちより 傳へくる

鐘の音 さむし

二 群雀去りて 門田寒く暮れぬ

夕づゝは かゞやかに

冬空に かゝり

宵闇の 山の端を

鐘の音 流る

海國日本

Fr. Kücken.

Allegretto. (♩ = 112)

mf
一 二
カイ コ ク ニ ホ ン ノ サ カ エ ラ ミ ヨ
かい こ く に ほ ん の ほ ま れ を み よ

mf cresc. f
ヤ チ ノ リ ラ ミ ヨ ヤ バ ン リ ニ ツ ラ ナ
や せ い き を み よ や や ま な す ど た う

p pp
ル ア ヲ ウ ナ バ ー ラ ー ゾ ー ム ゲ ン ノ ト ミ
も こ さ ふ く か ー ぜ ー も ー お そ れ ず す

p
ヲ タ タ ヘ テ フ カ キ ワ ガ ハ ラ カ ラ ノ イ タ ル ガ マ マ
む せ い き の み ふ ね あ さ ひ の は た の ひ ら め く か ぎ

cresc.
ニ ト ウ ザ イ ナ ン ボ ク コ レ リ ガ ク ニ ノ フ コ ク ノ ハ ウ
り しか い の は て に ー へ い わ か が や く か い こ く に ほ

cresc.
コ ゾ コ レ コ い ー ソ ト ハ ニ ツ キ ヌ ハ ウ コ
ん ぞ せ か い ー の ま も り ふ る ひ は げ め

dim.
dim.

世	海	朝	恐	山	二	こ	東	吾	無	萬	一	海
界	國	日	れ	な	海	れ	富	が	限	里	海	國
の	の	の	ず	な	國	こ	國	同	の	に	國	日
守	日	旗	進	す	本	そ	の	胞	富	連	本	本
護	本	の	む	怒	の	永	寶	の	を	なる	の	日
	ぞ	に	も	濤	の	久	庫	こ	を	る	見	本
				も	の	に	ぞ	れ	を	る	よ	の
奮	平	ひ	正	胡	譽	に	、	い	湛	青	榮	藤
ひ	和	ら	義	沙	を	盡	わ	た	へ	海	を	村
勵	輝	め	の	吹	見	き	が	る	て	原	見	俊
め	く	く	皇	く	よ	ぬ	が	が	深	ぞ	よ	や
	か	か	艦	風	や	寶	ま	ま	き		や	
	ぎ	り	も	も	や	庫	ま	ま	に			

花

瀧 廉太郎 作曲

♩ = 112.

ハ ル ノ ウ ラ ラー ノ スー ミー ダ ガ ハー

ハ ル ノ ウ ラ ラー ノ ス ミー ダ ガ ハー

ノ ボ リ ク ダー リー ノ フ ナ ビ ト ガー

ノ ボ リ ク ダー リー ノ フ ナ ビー トー ガー

カ イ ノ シ ツ ク モ ハ ナ ト チ ルー

カ イ ノ シ ツ ク モ ハ ナ ト チ ルー

ナ ガ メ フ ナー ニー ニ タ トー フ ベ キー

ナ ガ メ フ ナー ニー ニ タ ト フ ベー キー

ミ ズ ヤ ア ケー ボー ノ ツー ユー ア ビ テー

ワ レ ニ モ ノー イフー サ ク ラ ギ ラー

ミ ズ ヤ ユ フ グ レ テ ラ ノ ベ テー

ワ レ サ シ マー ネー ク ア ラー ヤ ギ ラー

ニ シ キ オ リー ナース チャウー テイ ニー

ニ シ キ オ リー ナース チャウー テイ ニー

ク ル レ バ ノー ボール オ ボ ロ ツ キー

ク ル レ バ ノー ボール オ ボ ロ ツー キー

ゲニイツコクモ センキンノ
 ゲニイツコクモ センキンノ
 ナガメヲ ナニニ タトフベキ
 ナガメヲ ナニニ タトフベキ

花
 武島羽衣

春のうらゝの隅田川
 のぼりくだりの船人が
 擡かのしづくも花と散る
 ながめを何にたとふべき

見ずやあけぼの露浴びて
 われにも言ふ櫻木を
 見ずや夕ぐれ手をのべて
 われさし招く青柳を

錦織りなす長堤に
 暮るれば上るおぼろ月
 げに一刻も千金の
 ながめを何にたとふべき



瀧 廉太郎……明治十二年大分縣竹田町に生れ、明治三十一年東京音楽學校卒業、同三十四年ドイツに留學を命ぜられたが、病を得て業半にして歸り、三十六年六月二十五歳をもつて夭折した。氏は「箱根八里」「荒城の月」「寄宿舍の古釣瓶」「花」等の美しき曲を多數殘した。

オ 女

Andante. (♩ = 100)

スコットランド民謡
編者 編曲

一. カ キ ナ ガ セ ル フ デ ノ ア ヤ ニ ソ
 二. ま き あ げ た る を す の ひ ま に き
 メ シ ム ラ サ キ ヨ シ ヨ ア セ ニ ブ ユ
 み の こ こ ろ も し ら の き や ろ
 カ リ ノ イ ロ コ ト バ ノ ハ ナ タ
 さ ん の み ね る あ い の か ね め
 グ ヒ モ ア ラ ジ ソ ノ イ サ ー フ
 に み る ご と き そ の ふ ぜ ー い

オ 女
 小學唱歌集

一 かきながせる 筆のあやに
 そめしむらさき 世々あせず
 ゆかりのいろ 言葉のはな
 たぐひもあらじ そのいさを

二 まきあげたる 小簾のひまに
 君のこゝろも しらゆきや
 廬山の峰 遺愛のかね
 めに見るごとき その風情

一七. 樂典の知識

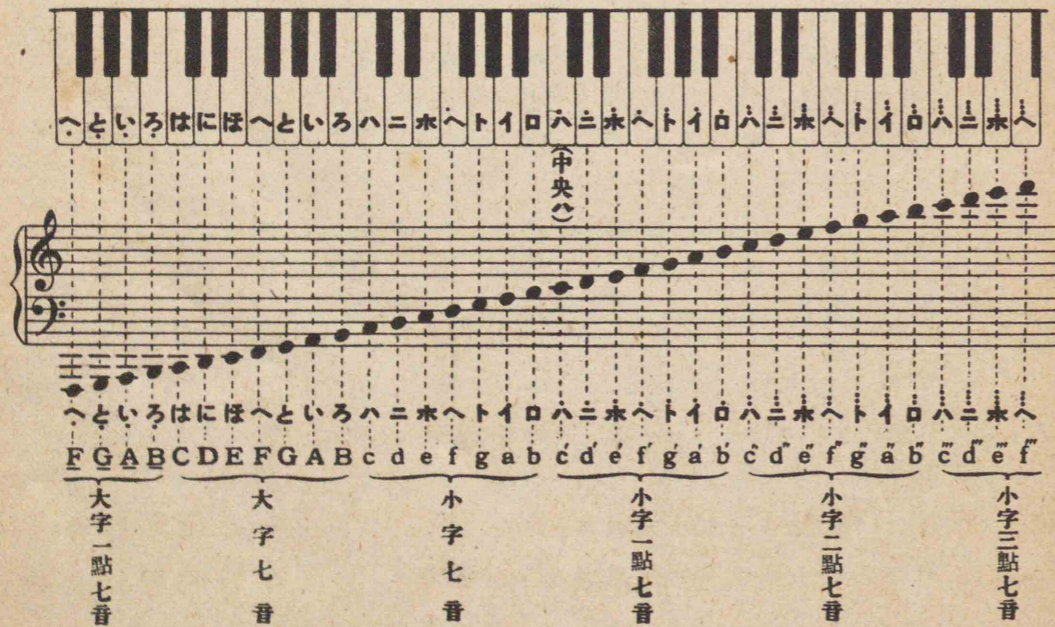
〔一〕 譜表の組合せ

低音部記號……譜表には高音部譜表の他に、低音部記號による低音部譜表もある。低音部記號は第四線を小字へ音と決定するもので、普通へ音記號ともいはれてゐる。



大譜表……單獨の譜表では多數の音を記入するに不便があるので二箇以上の譜表を併用する事が多い。ピアノ、オルガンの樂譜は高音部譜表と低音部譜表とを連合して用ひ、之を大譜表といふ。

大譜表は次の圖の如く、二つの譜表の間に加線一本を設けて之を連絡せしめる。此の中央の加線は一點ハ音に相當し、且つピアノ等の鍵盤に於ても略々中央に存する故中央ハ音とよぶ。



總譜 (Score)……大譜表の外、伴奏譜を伴ふ獨唱曲の如き、又は總譜といつて合唱、合奏等のそれぞれの部分を集めたものもある。之はその編成により二十箇以上の譜表を用ひることもある。

〔混聲四部合唱曲例〕



〔絃樂四部合奏曲例〕



中音部記號……合奏樂の總譜（稀に合唱曲にも）には高音部記號と低音部記號の外に中音部記號といふものが用ひられる。之は中央ハ音の位置を決定する記號なる故、ハ音記號ともいふ。

之はその位置によつてそれぞれソプラノ記號、アルト記號、テノール記號とよばれる。



〔二〕 音高に變化を與へる記號

變位記號……音樂に用ひる音は本位音（ピアノの白鍵に相當する音）のみでは自由なる表現が出来ない故、之に半音的變化を與へて表現を自由にす。之に用ひる記號を變位記號といひ三種ある。

- # = 嬰記號 (Sharp. シャープ) 半音高く
- b = 變記號 (Flat. フラット) 半音低く
- ♮ = 本位記號 (Natural. ナチュラル) 本位音にかへす

臨時記號.....變位記號の用法に二種あり、一は曲中に随時に用ひられるもので、之を臨時記號とよび、その効果はその小節間（但しその音より右方に）にのみ生ずる。

(b)(d)の本位記號は無意味であるが、往々演奏者の注意を引くために添へることがある。

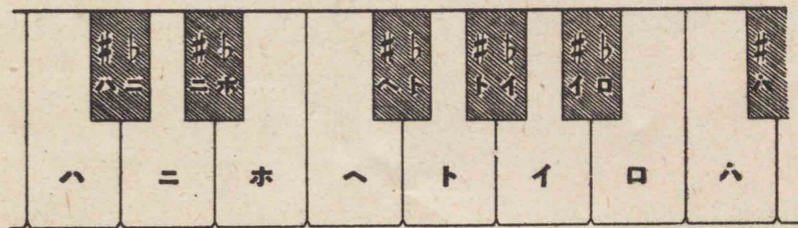
調號.....今一つは調號としての用法で、此の場合は曲首に出して調を決定し、曲の最後まで有効なるものである。

曲の途中に於いて調の變る(轉調)時には複縦線で之を劃し、調號をつけかへることがある。

〔三〕 變位記號と鍵盤

半音階.....音階に嬰記號又は變記號を用ひて、半音のみの音階を作る事が出来る。之を半音階といふ。之に對して全音を主とせる長音階・短音階の如き音階を全音階といふ。而してオクターヴを十二の半音に正しく分ける調律法を平均律といひ、現代の音樂理論は之を基礎として考へられてゐる。

異名同音.....平均律の半音階に於いて、嬰ハと變ニとは名稱が異つてゐて、實際には同音である。此の様な關係にあるものを異名同音といひ、一箇の黒鍵で兩音を共有するものである。



〔四〕 切分音

切分音 (Syncopation).....一定の拍子の進行に變化を與へる爲めに、音符の連合により強聲部の位置を任意に替へて、異つた拍子の感じを與へる事がある。之を切分音といふ。

連合線 (Tie).....今四拍子の(a)の譜の同高度にある弱聲部より強聲部へ孤線をもつて、(b)の如く連合させる時は、強聲部(アクセント)が初めの音符に移り、(c)の如き切分音を生ずる。この同度を結ぶ線を特に連合線といふ。

〔五〕 強弱を示す標語及び記號

強弱標語……音及び樂曲の強弱の程度を表はすには次の如き種々の標語又は記號を用ひる。

- p* *piano* (ピアノ) ……弱く
- f* *forte* (フォルテ) ……強く
- pp* *pianissimo* (ピアニッシモ) ……最も弱く
- ff* *fortissimo* (フォルティッシモ) ……最も強く
- mp* *mezzo piano* (メゾピアノ) ……稍弱く
- mf* *mezzo forte* (メゾフォルテ) ……稍強く

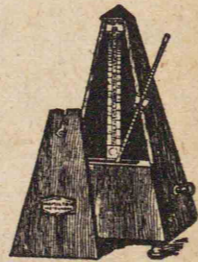
~~~~~  
*pp—p—mp—mf—f—ff*  
~~~~~

- cresc. crescendo* (クレシェンド) ……次第に強く
- decresc. decrescend* (デクレシェンド) ……次第に弱く
- dim. diminuendo* (ディミヌエンド) ……次第に弱く
- Λ > 又は *sf*
- sforzando* (スフォルツァンド) ……特に強く

〔六〕 メトロノームと速度標語

メトロノーム……樂曲の速度を正確に測定する機械をメトロノーム (Metronome) といふ。

♪ = 120 とあるは一分間に四分音符を百二十箇拍つ速度を表はし、M.M. ♪ = 148 とあるは、メルツェルのメトロノーム (Mälzel's Metronome) によつて、一分間に八分音符百四十八箇拍つ事を示すものである。



速度標語……その外樂曲の速度は、普通イタリー語をもつて示される。之を速度標語といひ曲首に添へる。

- Lento* (レント) ……徐々に
- Largo* (ラルゴ) ……緩かに廣く
- Larghetto* (ラルゲット) ……遅く (ラルゴより少し速く)
- Adagio* (アダージョ) ……遅く (アンダンテより少し遅く)
- Andante* (アンダンテ) ……併歩調に (やゝ遅く)
- Moderato* (モデラート) ……中庸に (程よく)
- Allegretto* (アレグレット) ……稍速く (アレグロより少し遅く)
- Allegro* (アレグロ) ……快速に
- Presto* (プレスト) ……急速に
- Vivace* (ヴィヴァーチェ) ……快速に

標語は二三語を合成させて用ひる事が多い。例へば

- Allegro moderato* (アレグロ モデラート) ……程よく速く
- Allegro ma non troppo* (アレグロ マノントロppo) ……
快速にしかし速すぎぬ様に
- Allegro assai* (アレグロ アッサイ) ……極めて快速に
- Allegro molto vivace* (アレグロ モルト ヴィヴァーチェ) ……
快速に極めて速く

又樂曲の一部分の速度を示す場合には隨所に次の様な標語を用ひる。

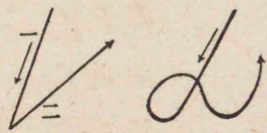
- rit. ritardando* (リタルダンド) ……次第に遅く
- rall. rallentando* (ラレンタンド) ……次第に遅く
- riten. ritenuto* (リテヌート) ……速度を幾分ゆるめて
- a tempo* (アテンポ) ……本來の速度に
- poco a poco* (ポコアポコ) ……漸次に (他の語に添へて)

più mosso (ピューモッソ) 更に速度をまして
accel. accelerando (アツェレランド) 次第に速く
string. stringendo (ストリンジェンド) 同上

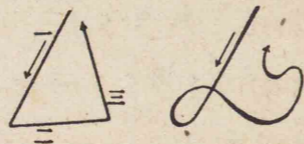
〔七〕 指揮法

指揮法 合唱又は合奏に當り、指揮棒をもつて樂曲の開始、停止を示し、且つ正確なる拍子、アクセントの所在、強弱、速度等樂曲の演出を指揮する方法を指揮法といふ。指揮棒の運動形式は大體次の如くである。

二拍子

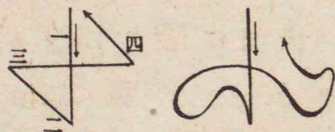


三拍子

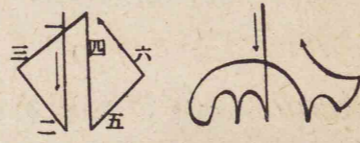


(急速なる四拍子、六拍子にも用ひられる)

四拍子



六拍子



〔八〕 曲想に関する標語

發想標語 曲想を示すには曲首又は適當なる箇所、多くイタリー語を以て記入される。之を發想標語といひ、次にその重要なものを示す。

Agitato (アジタート) 感情をもつて
Animato (アニマート) 生き生きと
Brillante (ブリルランテ) 光輝を以て
Cantabile (カンタービレ) うたふが如く

con brio (コンブリオ) 生氣をもつて
con moto (コンモート) 感情を以て
Dolce (ドルチェ) 柔かに
Doloroso (ドロローソ) 悲調を以て
Espressivo (エスプレッスィーヴォ) 表情をこめて
Furioso (フリオーソ) 勇壯に
Grave (グラヴェ) 莊重に
Grazioso (グラツィオーソ) 快活に
Fuoco (フオーコ) 急速に熱心に
Legato (レガート) 圓滑に
Leggiero (レジェーロ) 輕快に
Maestoso (マエストーソ) 莊嚴に
Passionato (パッショナート) 感動して
Scherzando (スケルツァンド) 輕快に
Sostenuto (ソステヌート) 各音を充分に保つて
ten.=tenuto (テヌート) 同上
Tranquillo (トランクィロ) 平穩に
Vigorouso (ヴィゴローソ) 力強く
Vivo (ヴィーヴォ) 勇壯活潑に

發想標語は往々速度標語と連ねて用ひられる。

Andante cantabile (アンダンテカンタービレ)
 やゝ遅くうたふが如く
Adagio espressivo (アダージョエスプレッスィーヴォ)
 遅く感情をこめて
Andante tranquillo (アンダンテトランクィロ)
 やゝ遅く平穩に

【附錄】一

發聲・音階練習

1. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12.

【附錄】二

音程練習

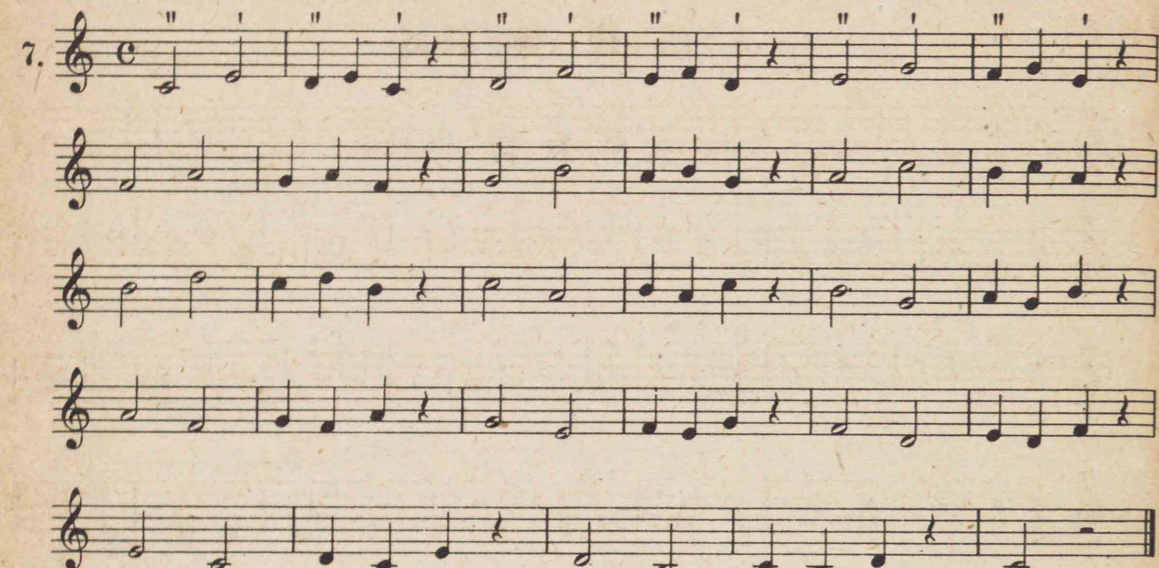
[コールユーブンゲン抜萃]

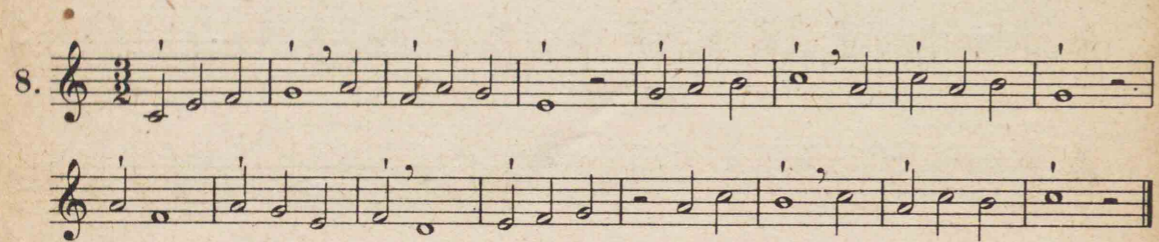
二度音程(復習)


1. 2. 3. 4. 5.


三度音程(復習)


6. 7. 8. 9.

7. 

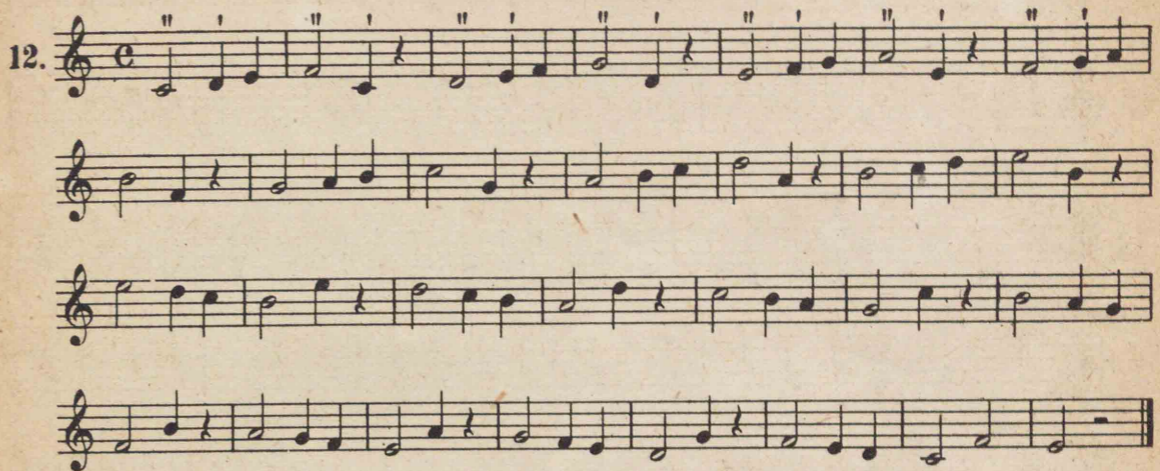
8. 

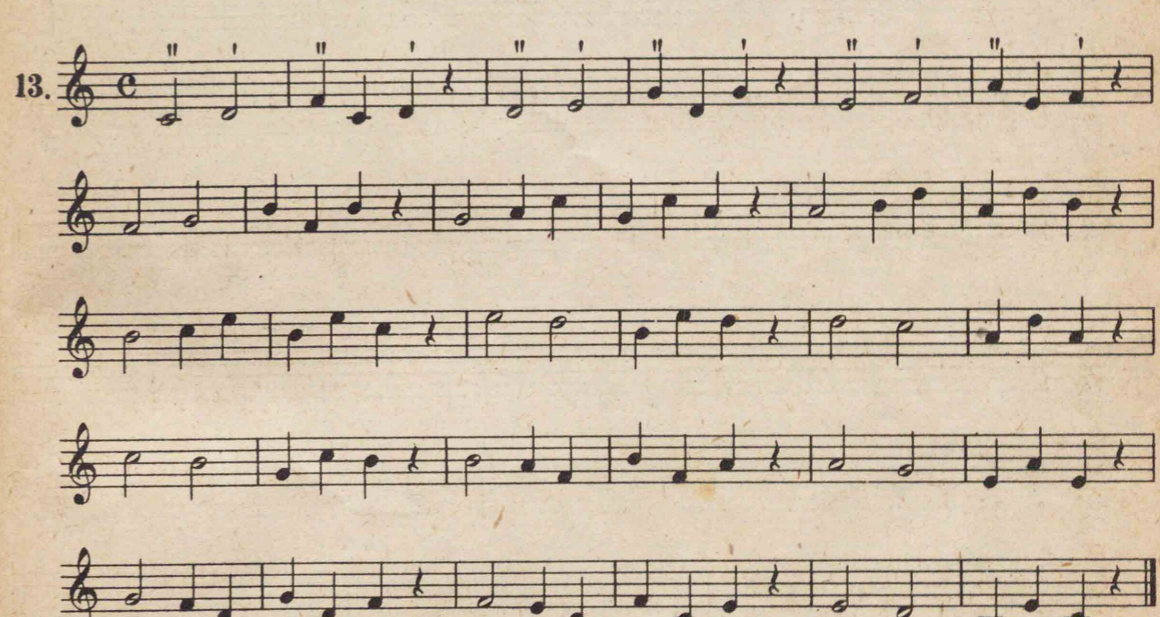
9. 

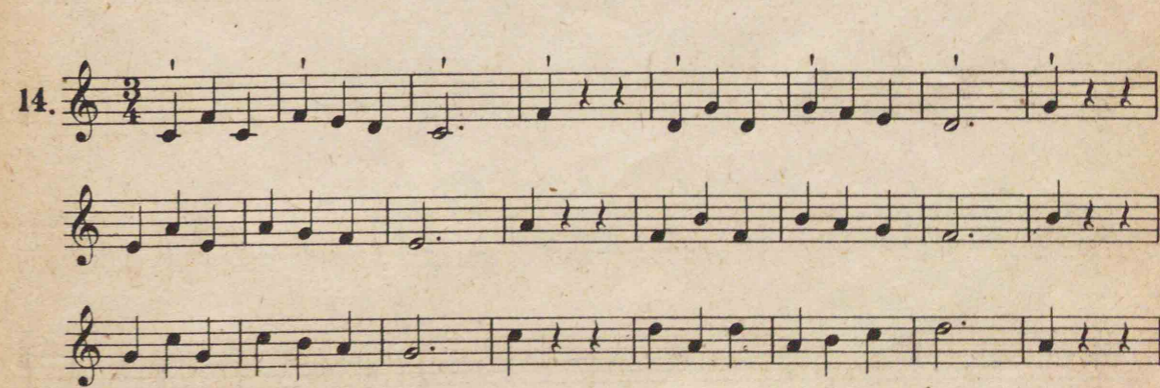
10. 

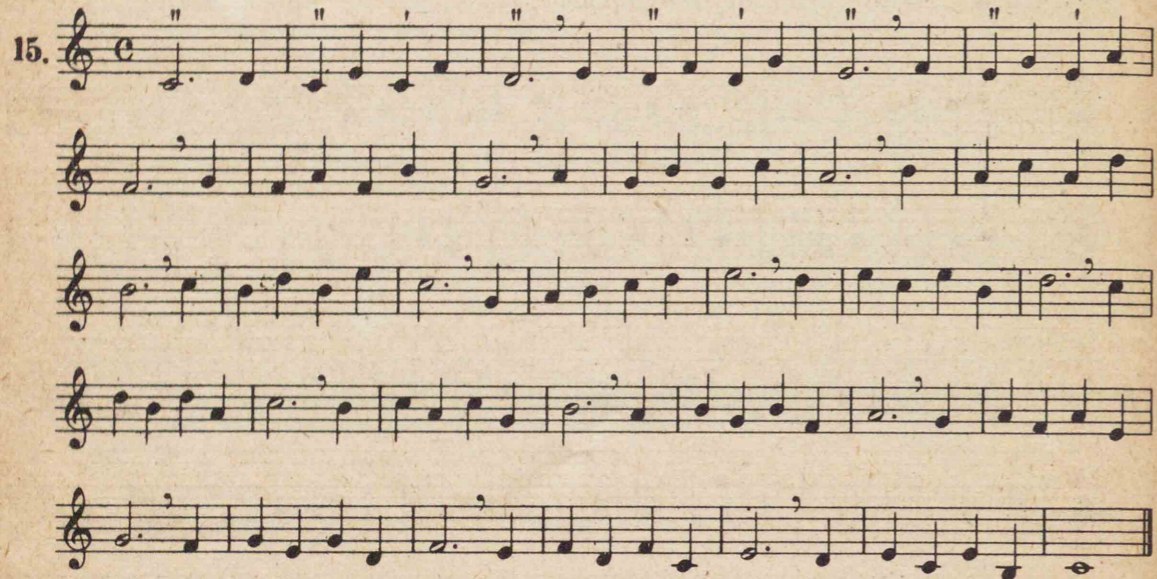
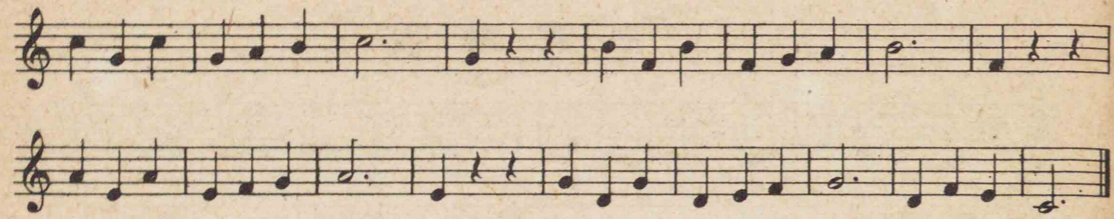
11. 

四度音程

12. 

13. 

14. 



歌曲總索引 (全五編) (五十音順)

明治天皇御製「よもの海」(單音) [1] 卷頭
明治天皇御製「國を思ふ」(單音) [2]
明治天皇御製「なよ竹は」(二部) [3]
明治天皇御製「あさみどり」(單音) [4]
昭憲皇太后御歌「大宮の」(單音) [5]

[ア]

あけぼの (單音) (ポルト・アンスキー作) [1] 13
愛國の歌 (單音) (ジャルディニ作) [1] 26
朝霧 (輪唱) (シュベンガー作) [1] 50
アロハ・オエ (單音) (ハワイ民謡) [1] 58
Alphabet (三部) (モーツァルト作) [3] 22
秋草 (二部) (小學唱歌集) [3] 69
ヴォルガの舟歌 (單音) (ヴォルガ地方民謡) [1] 61
鶯の歌 (二部) (フラー作) [1] 76
海邊にて (單音) (シューベルト作) [5] 16

[エ・エ]

A B C (單音) (モーツァルト作) [1] 14
英國國歌 (單音) (カレー作) [1] 24
遠足 (單音) (ドイツ民謡) [1] 30

[オ・ラ]

少女の夢 (單音) (ショパン作) [3] 58
小琴のしらべ (單音) (シューベルト作) [4] 28

[カ・クワ]

花月 (單音) (小學唱歌集) [1] 73
郭公ワルツ (二部) (ヨナソソ作) [2] 8
海國日本 (二部) (キューケン作) [2] 78
海邊の眺望 (單音) (ヴェルディ作) [3] 36
花鳥 (單音) (ヴェルナー作) [4] 7
かじやくさつき (四部) (ブラームス作) [4] 10
風にならばや (二部) (メンデルスゾーン作) [5] 9

[キ]

君が代 (單音) (林廣守作) [1] 1

[ク]

暮の鐘 (二部) (ボヘミア民謡) [2] 76

[コ・クワウ]

故郷の追懐 (單音) (ベリイ作) [1] 38
樹蔭の泉 (二部) (ドイツ曲) [2] 56
胡蝶 (單音) (シューマン作) [3] 10
心靜かに (單音) (モーツァルト作) [3] 28
聲 (輪唱) (シュルツェ作) [3] 3

皇軍凱旋 (三部) (オッフェンバッハ作) [3] 78
樹蔭 (單音) (ルービンシュタイン作) [4] 60

[サ]

五月の野邊 (單音) (ヘルストン作) [1] 16
さらばハワイ (單音) (ハワイ民謡) [1] 58
山村の春 (輪唱) (作曲者不詳) [1] 72
サンタ・ルチア (二部) (ナポリ民謡) [2] 42
オ女 (二部) (スコットランド民謡) [2] 83

[シ]

舟遊 (單音) (ハミルトン作) [1] 36
霜の朝 (二部) (ウィルヘルム作) [1] 52
白百合 (單音) (ブラームス作) [2] 32
城山の秋 (二部) (フォスター作) [2] 60
出陣の歌 (單音) (シューマン作) [2] 62
春曉 (三部) (ライヒャルト作) [4] 1
昭和の日本 (三部) (ウィリアムス作) [4] 46

[ス]

須磨の秋 (單音) (モーツァルト作) [1] 47
すみれ (二部) (ヴォルガ地方民謡) [2] 5
スキーの歌 (二部) (黒澤隆朝作) [2] 63

[セ]

雪戰 (單音) (ドイツ民謡) [1] 56
青春の歌 (單音) (メンデルスゾーン作) [4] 14
静夜 (三部) (クルシュマン作) [5] 25

[ソ・サウ]

早春 (單音) (ドイツ民謡) [1] 68
早春賦 (單音) (中田章作) [3] 76
そらあるき (三部) (レーヴァ作) [4] 56

[タ]

楽しき農夫 (單音) (シューマン作) [2] 25
楽しき春 (單音) (ベートーヴェン作) [3] 2
旅の明暮 (二部) (ルービンシュタイン作) [4] 62
探梅 (三部) (作曲者不詳) [5] 70

[チ]

地上の歡喜 (二部) (ベートーヴェン作) [3] 4
散り行く花 (三部) (作曲者不詳) [3] 24

[ツ]

追憶 (單音) (アメリカ曲) [1] 25
紡ぐ少女 (單音) (ユングスト作) [3] 68
辻音楽師 (單音) (シューベルト作) [5] 56

[テ]

天壤無窮 (二部) (ベートーヴェン作) [3] 8

[ト]

時計 (輪唱) (ドイツ曲) [1] 50
遠寺の鐘 (單音) (ジルヘル作) [3] 52

[ナ]

なみ風 (單音) (小學唱歌集) [1] 12
夏を楽しむ (二部) (ロッシニ作) [2] 40
懐しの我家 (三部) (ビショッフ作) [5] 12

[ニ]

日章旗 (單音) (シュワルツ作) [1] 20
日本帝國 (二部) (ブローム作) [2] 22

[ネ]

眠れ英靈 (四部) (シューベルト) [3] 56

[ノ]

野寺の鐘 (輪唱) (イギリス曲) [1] 51
野薔薇 (單音) (シューベルト作) [4] 6

[ハ]

春霞 (單音) (ハットン作) [1] 10
春の曙 (單音) (ウエスレイ作) [1] 11
春の夜 (單音) (ハリソン作) [2] 4
母のおもひ (單音) (小學唱歌集) [2] 17
春の山野 (單音) (ブラッドハーリー作) [2] 20
箱根路 (二部) (ヘラー作) [2] 50
鳩と泉 (輪唱) (ハウプトマン作) [2] 70
花 (二部) (瀧康太郎作) [2] 80
春の歌 (三部) (メンデルスゾーン作) [3] 18

玻璃の清水 (單音) (ドイツ曲) [3] 26
母と子 (二部) (ウイーン調) [5] 22

羽衣の舞 (四部) (ウェーバー作) [5] 48
春の祝歌 (四部) (ズエーデルマン作) [5] 60

[ヒ]

飛行機 (單音) (ドイツ民謡) [1] 67
雲雀 (二部) (作曲者不詳) [2] 3

雲雀の歌 (四部) (メンデルスゾーン作) [5] 1

[フ]

故郷さらば (單音) (ドイツ民謡) [1] 21
舊都の月 (單音) (ヘイズ作) [1] 28

福壽草 (輪唱) (ドイツ曲) [1] 49
冬の旅 (單音) (クック作) [1] 53

ブラームスの子守歌 (單音) (ブラームス作) [1] 28
船路 (三部) (マツチンギイ作) [3] 62

欸乃の調 (二部) (オッフェンバッハ作) [4] 40
ふるさとの夢 (三部) (ドヴォルジャック作) [4] 66

富嶽の頌 (三・四部) (ストックツ作) [4] 74
古池の蛙 (四部) (ドイツ民謡) [5] 34

[ホ]

牧人の歌 (二部) (グリーガー作) [2] 36
ボートの唄 (二部) (アラ作) [2] 54
菩提樹 (三部) (シューベルト作) [4] 33
灯影 (三部) (作曲者不詳) [4] 34
亡友を懐ふ (單音) (アッシャー作) [4] 38
牧場の曙 (三部) (ウルソソソ作) [5] 40

[マ]

舞扇 (單音) (作曲者不詳) [1] 62
護れ空を (單音) (黒澤隆朝作) [1] 66
籬の白菊 (單音) (アフト作) [4] 54

[ミ]

水に映る影 (二部) (グリソカ作) [2] 18
深山路 (單音) (ドイツ曲) [2] 46
みたにの奥 (單音) (小學唱歌集) [5] 69

[ム]

麥打ちの歌 (單音) (ドイツ民謡) [1] 17
蟲に寄せて (二部) (ライオン作) [2] 58

[モ]

森のひとき (二部) (キューケン作) [4] 22
モーツァルトの子守歌 (單音) (モーツァルト作) [1] 44

[ヤ]

藪のかつこう (二部) (シュミット作) [1] 32
山のうた (二部) (デンツァ作) [3] 46
山うぐひす (三部) (メンデルスゾーン作) [4] 16

山の古寺 (三部) (ブラームス作) [5] 18

[ユ]

雪山のうた (三部) (高木東六作) [3] 70
夢 (三部) (シューマン作) [5] 44

[ヨ]

四つ葉のクローバー (單音) (ロイテル作) [5] 6
夜の曲 (單音) (シューベルト作) [5] 32

[リ・レフ]

獵人の合唱 (三部) (ウェーバー作) [3] 40

[ル]

流浪の民 (三部) (シューマン作) [5] 75

[ロ]

ロオレライ (單音) (ジルヘル作) [2] 45

[ワ]

若草の古戰場 (單音) (スコットランド民謡) [2] 6
若人の歌 (單音) (ブッセルフィールド作) [3] 75

我が太陽 (單音) (ナポリ民謡) [4] 50
我等が精銳 (三部) (ヤコボフスキー作) [4] 78

所載名曲總索引 (全五編) (五十音順)

| 編目 | 編頁 | 編目 | 編頁 |
|-------------------------------|--------|----------------------------------|--------|
| [ア] | | | |
| アロハ・オエ (Ilioukalani Q.) | (1) 60 | 歌劇タンホイザー中の大行進合唱曲 (Wagner) | (5) 73 |
| アルルの女 (王の行進・フランス民謡) (Bizet) | (1) 63 | 歌劇タンホイザー巡禮の合唱 (Wagner) | (5) 73 |
| アンニー・ローリー (少女) (スコットランド民謡) | (2) 83 | [キ] | |
| アンダンテ・カンタービレ (Tchaikowsky) | (3) 51 | 驚愕交響曲 (Haydn) | (1) 19 |
| 碧きドナウ河 (J. Strauss) | (3) 65 | 金と銀 (Lehar) | (2) 12 |
| アム・メーア (海邊にて) (Schubert) | (5) 16 | 金婚式 (Gabriel-Marie) | (2) 75 |
| アーゼの死 (Grieg) | (5) 38 | [ク] | |
| アニトラの踊 (Grieg) | (5) 39 | 軍隊行進曲 (Schumann) | (2) 65 |
| アヴェ・マリア (Gounod) | (5) 59 | クロイツェルソナタ (Beethoven) | (3) 21 |
| アヴェ・マリア (Schubert) | (5) 59 | 軍隊行進曲 (Schubert) | (4) 32 |
| 愛の夢 (Liszt) | (5) 68 | グノーのセレナーデ (Gounod) | (4) 73 |
| [イ] | | | |
| イ長調のワルツ (Brahms) | (5) 20 | [ケ] | |
| 祈りの曲 (Max Bruch) | (5) 46 | ケンタッキーの家 (Foster) | (2) 61 |
| [ウ・ヴ] | | | |
| ヴォルガの舟歌 (ロシア民謡) | (1) 61 | 月光の曲 (Beethoven) | (5) 24 |
| ウィリアム・テルの牧歌調 (Rossini) | (3) 50 | G線上のアリア (Bach) | (5) 51 |
| ウィリアム・テルの行進曲 (Rossini) | (3) 50 | [コ] | |
| ヴァイオリン協奏曲 (Mendelssohn) | (4) 20 | 故郷の夢 (アメリカ曲) | (1) 39 |
| 歌の翼に (Mendelssohn) | (4) 20 | 子守歌 (Mozart) | (1) 44 |
| 維納狂想曲 (母と子・ウィーン調) (Kreisler) | (5) 22 | 子守歌 (Brahms) | (2) 28 |
| [エ] | | | |
| 英國国歌 (Carey) | (1) 24 | 子守歌 (Hauser) | (3) 54 |
| エレジー (Massenet) | (5) 15 | 子守歌 (Iljinsky) | (3) 54 |
| エルケニツヒ (Schubert) | (5) 32 | ゴセックのガヴォット (Gossec) | (3) 55 |
| [オ・ヲ] | | | |
| 王の行進 (フランス民謡) | (1) 63 | コール・ニドライ (Max Bruch) | (5) 46 |
| オールド・ブラック・ジョー (城山の秋) (Foster) | (2) 60 | [サ] | |
| 少女の願ひ (少女の夢) (Chopin) | (3) 58 | サープライズ (驚愕交響曲) (Haydn) | (1) 19 |
| 音楽に寄せて (小琴のしらべ) (Schubert) | (4) 50 | サンタ・ルチア (ナポリ民謡) | (2) 42 |
| オー・ソレ・ミオ (我が太陽) (ナポリ民謡) | (5) 28 | サンカンティヌ (Gabriel-Marie) | (2) 75 |
| 思ひ出 (Drdla) | (5) 47 | サドコのインドの歌 (Rimsky-Korsakow) | (5) 5 |
| [カ] | | | |
| 郭公 (オーストリア民謡) | (1) 11 | [シ] | |
| 玩具交響曲 (Haydn) | (1) 19 | 主人は冷たい土の中に (Foster) | (2) 61 |
| 歌劇オルフェオのアンダンテ (Gluck) | (1) 21 | 新世界よりのラルゴ (ふるさとと夢) (Dvofák) | (4) 66 |
| 歌劇魔弾の射手序曲より (Weber) | (1) 42 | 死と少女 (Schubert) | (5) 16 |
| 歌劇魔弾の射手よりの歌調 (Weber) | (1) 42 | シューベルトのアヴェ・マリア (Schubert) | (5) 59 |
| 歌劇フィガロの婚禮より (Mozart) | (1) 46 | 巡禮の合唱 (Wagner) | (5) 73 |
| 歌劇ローエングリン中の結婚行進曲 (Wagner) | (1) 70 | [ス] | |
| 歌劇ルチア中の祝婚行進曲 (Donizetti) | (1) 70 | ステンカ・ラーズィン (ナミレ) (ロシア民謡) | (2) 5 |
| 歌劇トロヴァトーレ中の兵士の合唱より (Verdi) | (1) 70 | スコットランドの釣鐘草 (若草の古戦場) (スコットランド民謡) | (2) 6 |
| 郭公ワルツ (Jonasson) | (2) 8 | スザンナ (Foster) | (2) 61 |
| 歌劇カルメン闘牛士の歌 (Bizet) | (2) 21 | スプリングソング (Mendelssohn) | (3) 11 |
| 歌劇カルメンカスタネットの歌 (Bizet) | (2) 21 | スケーターワルツ (Waldteufel) | (3) 74 |
| 歌劇オペロン (Weber) | (2) 39 | スーヴニール (Drdla) | (5) 47 |
| 歌劇箏笛より (心静かに) (Mozart) | (3) 28 | [セ] | |
| 歌劇魔弾の射手花の冠合唱 (Weber) | (3) 44 | 聖ヨハネスの讃歌 | (1) 7 |
| ガヴォット (Popper) | (3) 55 | 聖夜 (Grüber) | (2) 44 |
| ガヴォット (Gossec) | (3) 55 | 星條旗の歌 (Smith) | (3) 35 |
| カヴァティーナ (Raff) | (4) 27 | セレナーデ (Toselli) | (4) 53 |
| 歌劇蝶々夫人中の舟歌 (Puccini) | (4) 44 | セレナーデ (Drigo) | (4) 72 |
| 歌劇蝶々夫人中或る晴れた日に (Puccini) | (4) 45 | セレナーデ (Gounod) | (4) 73 |
| カレソレントへ (Curtis) | (4) 53 | セレナーデ (Tosti) | (4) 73 |
| カロ・ミオ・ベン (ナポリ民謡) (Giordani) | (5) 31 | セレナーデ (Schubert) | (5) 32 |
| 歌劇訪へる和蘭人中の紡ぎ歌 (Wagner) | (5) 73 | [ソ] | |

| 編目 | 編頁 | 編目 | 編頁 |
|------------------------------|--------|-------------------------------------|--------|
| [タ] | | | |
| 楽しき農夫 (Schumann) | (2) 25 | フランス国歌 | (3) 34 |
| タウベルトの子守歌 (Taubert) | (2) 44 | 舞踏への勧誘 (Weber) | (3) 45 |
| 第九交響曲 (地上の歡喜) (Beethoven) | (3) 4 | [ヘ] | |
| [ツ] | | | |
| ツィゴイネルワイゼン (Sarasate) | (2) 75 | 米國国歌 | (3) 34 |
| 紡ぎ歌 (Wagner) | (5) 73 | へ調のアリア (樹陰) (Rubinstein) | (4) 60 |
| ツィゴイネルレーベン (流浪の民) (Schumann) | (5) 75 | ペール・ギュント (Grieg) | (5) 38 |
| [テ] | | | |
| 天使 (Rubinstein) | (4) 65 | [ホ] | |
| [ト] | | | |
| トイ・シンフォニー (玩具交響曲) (Haydn) | (1) 19 | ホッパーのガヴォット (Popper) | (3) 55 |
| トイツ国歌 (Haydn) | (1) 19 | ホロネーズ (Chopin) | (3) 42 |
| 闘牛士の歌 (Bizet) | (2) 21 | ホフマンの舟歌 (歌乃の調) (Offenbach) | (4) 40 |
| トロイメライ (Schumann) | (2) 65 | ホーム・スキート・ホーム (懐しの我家) (Bishop) | (5) 12 |
| ト調のミヌエツト (Beethoven) | (3) 14 | 牧神の午后前奏曲 (Debussy) | (5) 74 |
| トルコ行進曲 (Beethoven) | (3) 15 | [マ] | |
| トルコ行進曲 (Mozart) | (3) 15 | マドリガル (Simonetti) | (1) 31 |
| ドナウ河の漣 (Ivanovici) | (3) 65 | 滿洲國国歌 | (2) 67 |
| トロイカ (Tchaikowsky) | (3) 74 | マルセユの歌 (フランス国歌) | (3) 34 |
| トゼリのセレナーデ (Toselli) | (1) 53 | マヅルカ (Chopin) | (3) 61 |
| ドリゴのセレナーデ (Drigo) | (4) 72 | 魔王 (Schubert) | (4) 32 |
| トスティのセレナーデ (Tosti) | (4) 73 | マリアの子守歌 (Max Reger) | (5) 46 |
| [ナ] | | | |
| 名残の薔薇 (Th. Moore) | (1) 71 | [ミ] | |
| ナチスの歌旗を掲げて | (2) 66 | ミヌエツト (Beethoven) | (3) 14 |
| ナポリ民謡 (Curtis) | (4) 53 | ミヌエツト (Paderewski) | (4) 26 |
| [ニ] | | | |
| 日曜日 (百合合) (Brahms) | (2) 32 | ミリタリーマーチ (Schubert) | (4) 32 |
| ニーナの死 (Pergolesi) | (5) 31 | 未完成交響曲の主題 (Schubert) | (4) 32 |
| [ネ] | | | |
| 眠りの精 (Brahms) | (2) 31 | [ム] | |
| [ノ] | | | |
| ノクターン (Chopin) | (3) 59 | 無言歌 (Mendelssohn) | (3) 11 |
| 野薔薇 (Schubert) | (4) 6 | [メ] | |
| 野薔薇 (花鳥) (Werner) | (4) 7 | メリー・ウィードー・ワルツ (Lehar) | (2) 7 |
| [ハ] | | | |
| 春のほゝろみ (Depret) | (1) 14 | [モ] | |
| ハワイの舟歌 (ハワイ民謡) | (1) 60 | モルダウ (Smetana) | (3) 68 |
| 母なる河ヴォルガ (ロシア民謡) | (1) 61 | [ヤ] | |
| 波上にて (Rosas) | (2) 12 | 夜想曲 (Chopin) | (3) 61 |
| 旗を掲げて (ナチスの歌) | (2) 66 | [ユ] | |
| 春の歌 (Mendelssohn) | (3) 11 | ユモレスク (Dvořák) | (4) 77 |
| ハンターズ・コーラス (獵人の合唱) (Weber) | (3) 40 | [ヨ] | |
| 春の囁き (Sinding) | (5) 4 | 搖籃の歌 (Hauser) | (3) 54 |
| 春に寄す (Grieg) | (5) 4 | 搖籃の歌 (Iljinsky) | (3) 54 |
| 春の夢 (J. Strauss) | (5) 4 | 四つ葉のクローバー (Reutel) | (5) 6 |
| 白鳥 (Saint-Saëns) | (5) 15 | [ラ] | |
| ハレルヤ・コーラス (Händel) | (5) 55 | ラスト・ローズ・オブ・サンマー (名残の薔薇) (Th. Moore) | (1) 71 |
| [ヒ] | | | |
| ピアノソナタの主題 (Mozart) | (2) 52 | ラルゴ (ふるさとと夢) (Dvořák) | (4) 66 |
| 悲槍交響曲 (Tchaikowsky) | (3) 51 | ラルゴ (Händel) | (5) 55 |
| 悲歌 (Massenet) | (5) 15 | ライエルマン (社音楽師) (Schubert) | (5) 56 |
| 悲哀 (Saint-Saëns) | (5) 15 | [ル] | |
| [フ] | | | |
| ブラームスの子守歌 (Brahms) | (2) 28 | ルール (Bach) | (5) 51 |
| ファシストの歌 | (2) 67 | [ロ] | |
| | | ローレライ (Silcher) | (2) 45 |
| | | 老犬トレイ (Foster) | (2) 61 |
| | | [ワ] | |
| | | ワルツ調 (ドイツ曲) | (1) 24 |
| | | ワルツ調 (Lehar) | (2) 7 |
| | | ワルツ波上にて (Rosas) | (2) 12 |
| | | ワルツ金と銀 (Lehar) | (2) 12 |
| | | ワルツドナウ河の漣 (Ivanovici) | (3) 66 |
| | | ワルツ碧きドナウ河 (J. Strauss) | (3) 67 |
| | | ワルツスケーター (Waldteufel) | (3) 74 |
| | | 吾が母の教へ給ひし歌 (Dvořák) | (4) 70 |
| | | ワルツイ長調 (Brahms) | (5) 20 |

昭和十三年九月二十五日 印刷
 昭和十四年二月二十八日 修正再版印刷
 昭和十四年二月二十五日 修正再版發行

改訂女子音樂教科書第二編
 標準

定價金七拾錢

編著者

黑澤朝朝
 小林幸一
 林川

發行者

東京市麴町區飯田町二丁目二十番地
 中等學校教科書株式會社

代表者 山本慶治

印刷者

東京市神田區錦町三丁目十四番地
 柴田次郎

發行所

東京市麴町區飯田町二丁目二十番地
 中等學校教科書株式會社
 日本出版文化協會會員番號 一一七、五三二

配給元 日本出版配給株式會社
 東京市神田區淡路町二丁目九番地

(略名) 共益黑澤女音樂二

広島大学図書

0130449397



教科

42

013